

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局総務区政課		重点項目 ・局の総括 ・地域に最も身近な区役所が、地域のニーズを的確に把握し、住民主体のまちづくりを推進する。 ・区行政の拠点である区役所・出張所施設の維持・改善を図る。						
	課長名	上村 鋭治		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A) 998,731 千円	平成28年度当初予算額(B) 1,040,956 千円	増減額(A-B) -42,225 千円	人件費

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				区行政推進事業(投資)	市民に最も身近な区役所が、地域のニーズを的確に捉えながら、市民と協働して、地域の課題解決や、人材育成、地域の特色を活かしたまちづくりを推進する。	区役所がその機能を最大限に発揮し、地域の特色を活かしたまちづくりやコミュニティ活動への支援などを積極的に進める。	多様化する市民ニーズに対応した施策の実現	関係局と連携し、地域の特色や実情に応じた事業を展開する。	28,942	26,557	-2,385
2			区行政推進事業(行政)		165,956				173,443	7,487	
3			市民還元事業(区役所実施分)	市民の協力により、市制50周年記念事業として若松区響灘に建設した「市民太陽発電所」の売電収入の一部を市民に還元するための事業を区役所において実施する。(H29は若松区、八幡東区で実施)	7,000				10,000	3,000	
4			区行政総合調整費	区行政全般に係る施策などを推進するため調査等を行う。	990				990	0	
5			出張所の機能強化	出張所に保健福祉相談員を配置し、区の保健福祉課と連携した保健・福祉サービスを提供する。	36,845				33,165	-3,680	
6			区役所・出張所改修事業	市民が利用する区役所庁舎の施設機能を維持していくため、区役所出張所庁舎の施設改修を実施する。	区役所出張所等の安全を確保し、効率的な機能維持に努める。	老朽化が進む区役所出張所庁舎の機能維持	優先順位をつけ、計画的に庁舎の整備を行う。	79,500	56,160	-23,340	
7			区役所・出張所庁舎整備事業(臨時分)	区役所出張所庁舎の維持補修を実施する。				20,000	20,000	0	
8			区役所・出張所庁舎整備事業					20,520	22,905	2,385	
9			区役所自家発電設備整備事業	大規模災害時発生時に災害対応の拠点となる各区対策部の機能保持に必要な電力確保のため各区役所の自家発電設備の整備を行う。				41,000	17,300	-23,700	
10			区役所公用車リース化(八幡西区役所)	八幡西区役所で使用する公用車のリース経費。	11,717	11,424	-293				

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				区役所公用車リース化 (小倉南区役所)	小倉南区役所で使用する公用車のリース経費。				9,800	7,108	-2,692
12		○		<新>区役所公用車リース化 (若松区役所分)	若松区役所で使用する公用車のリース経費。					4,516	4,516
13				庁舎一般管理(市文・総務区政課)(法律・条例)	区役所公用車の自動車重量税など、法定の経費。				204	136	-68
14				庁舎一般管理(市文・総務区政課)	区役所運営に係る経費。				74,122	75,000	878
15				庁舎維持管理事務					328,371	327,210	-1,161
16			○	庁舎維持管理事務(追加分)	区役所や出張所の維持管理に係る経費。	区役所出張所等の安全を確保し、効率的な機能維持に努める。	—	—	7,000		-7,000
17			○	八幡西区役所管理経費(増額分)					1,637		-1,637
18				八幡西区役所来庁者に係る市営駐車場使用料	八幡西区役所来庁者が利用する市営駐車場に係る経費。				18,726	18,506	-220
19				コムシティ老朽設備大規模改修工事	コムシティの設備改修に係る経費。				15,424	10,454	-4,970
20				コムシティ管理経費	コムシティの維持管理に係る経費。				133,073	150,916	17,843
21			○	コムシティ管理経費(増額分)					23,688		-23,688
22			○	<新>門司アカデミアサポートセンター解体工事	平成20年度より使用実績のない、アカデミアサポートセンターを解体するための経費。					9,400	9,400
23			○	<新>区役所電話交換業務の見直し関連事業	電話交換機の更改にあわせて、区役所担当課に直通電話(ダイヤルイン)を導入するための経費。	区役所電話交換業務について、より効率的な実施体制を実現する。	市民サービスの向上と経費節減の両立	より効率的・効果的な運営体制の検討及び電話通信網の整備を進める。		6,000	6,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
24				人権擁護委員協議会補助金	人権擁護委員制度の普及を行う団体への活動助成。	その他	—	—	1,000		-1,000
25			各種団体補助事業(市文・総務区政課)	小倉検察審査協会への活動助成。	354				54	-300	
26			研究会等参加【区役所】	区役所職員の人権研修等各種研修参加に要する経費。	397				396	-1	
27		○	市民への広報活動	区において人権標語を掲示するための経費。	396					-396	
28			区交際費	地域行事の参加費等。	4,300				4,300	0	
29			総務課事務管理費	局内の管理運営に係る経費。	9,884				12,679	2,795	
30			研究会等参加費	局職員の人権研修等各種研修参加に要する経費。	110				112	2	

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局戸籍住民課		重点項目	住民基本台帳、戸籍、住居表示等の区役所業務が確実かつ効率的に遂行できるように指導、改善、調整を行う。					
	課長名	中村 秀寿		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	592,367 千円	人件費	目安の金額
平成28年度当初予算額(B)			443,344 千円			係長 2 人			
					増減額(A-B)	149,023 千円	職員 5 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				戸籍住民基本台帳事務	戸籍法、住民基本台帳法などにに基づき適正に事務を行う。	適正で市民に至便な 戸籍住基事務の実施	・効果的で効率的な業務 運営の確保と市民サー ビスの向上 ・専門的な市民ニーズへ の対応	・市民課の異動届等入力業務と、市民課フ ロアでの記入支援及び総合案内業務につ いて、業務の効率化を図るため、一括契約 を行う。	70,454	70,431	-23
2			住民登録促進月間 (ハローin北九州)事業	市内の大学等に住民登録の促進に向けた呼びかけを行う。	503				482	-21	
3			市民課入力業務・窓口案 内業務の委託化	市民課の異動届等入力業務と、市民課フロアでの記入支援及び 総合案内業務を委託化する。	118,768				120,967	2,199	
4			証明書発行用ファクシミリ リリース	証明書発行事務用のファクシミリをリース契約により市民課・出 張所等に設置する。	11,504				10,824	-680	
5			通知カード・個人番号カード 関連事務の委任	社会保障・税番号制度の導入に伴い、通知カード及び個人番号 カードに関連する事務を省令に基づき地方公共団体情報システム 機構に委任する。	マイナンバー制度の 適正な執行と普及、 利活用	-	-	89,800	150,125	60,325	
6			個人番号カード普及事業	個人番号カードの交付について、業務委託等を活用することによ って、市民課業務に支障が生じないようにするとともに、早期 の普及に努める。	・個人番号カードにかか る実務を行う市民課の混 雑緩和	・委託可能な事務は委託し、臨時職員も活 用して、効率的な業務運営を図る。	16,492	28,720	12,228		
7			証明書コンビニ交付サー ビス事業	住民にとって身近なコンビニエンスストアで住民票等を取得でき るコンビニ交付サービスの実施に向けて、システム調達や広報 に取り組む。	・市民への周知と、円滑 なシステム移行	市民に不便が生じないよう、丁寧な広報を 行う。	38,400	7,247	-31,153		
8	○		<新>証明書コンビニ交 付サービス維持管理事業						12,500	12,500	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9				住民基本台帳ネットワーク維持管理事業	全国の住民基本台帳システムをネットワークで繋ぎ、全国共通の本人確認が出来る仕組みを構築し、高度情報化社会に対応した住民のサービス向上や事務の効率化を図る。	システムの安定運用と新制度への安全・確実なシステム対応	新制度対応を含めたシステム運用には、安全・確実な対応が求められる。	新制度開始に向け、個人情報の取扱い等にも十分配慮しながら、遅滞なく確実にシステム対応する。	44,091	47,766	3,675
10			住民基本台帳ネットワーク事業(臨時)	0					6,540	6,540	
11		○	住民基本ネットワーク事業(債務)	3,437						-3,437	
12			住基ネットCS端末等リース	2,464					767	-1,697	
13		○	<新>住民記録システム住基ネット連携機能運用保守事業						29,746	29,746	
14			番号制度(情報提供)ネットワーク対応事業	8,400					1,900	-6,500	
15		○	<新>旧姓併記制度対応事業						80,000	80,000	
16			ICTインフラの更新に伴う戸籍総合システムの改修事業(債務負担)	29,212					7,776	-21,436	
17			住居表示整備事業	住居表示未実施区域での住居表示及び実施済区域で街区等の形状が変わった場合の再整備を行う。					1,739	1,739	0
18			住居表示維持管理	街区表示板等の破損脱落等を調査して補修を行うとともに、現状に合わせた住居表示台帳の修正を行う。					8,080	8,080	0
19		○	<新>住居表示(学術研究都市地区対応)事業	学研北部地区の土地区画整理事業が完了し、換地処分を行うのにあわせて、住居表示を実施するもの		6,757	6,757				

平成29年度 課の事業一覧

組 織 名	市民文化スポーツ局 区政事務センター		重 点 項 目	法令に基づく住民基本台帳事務、戸籍事務等を適切に行うとともに、区役所窓口ワンストップサービスの円滑な運営に資するよう迅速な事務処理を行う。								
	課 長 名	中 山 万 寿 子		コ ス ト	事 業 費	平成29年度当初予算額(A)	5,189 千円	人 件 費	目安の金額	課長	2	人
						平成28年度当初予算額(B)	5,138 千円		係長	4	人	
						増減額(A-B)	51 千円		職員	32	人	
				303,000 千円								

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				区政事務センター一般管理費	区政事務センターの管理運営に係る経費	その他	-	-	5,138	5,189	51

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局広聴課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識を踏まえた市政運営の推進に資するため、市政情報の提供を行うとともに市民意識を適宜、的確に把握する。 ・市民からの問合せ、相談、苦情等に適切に対応する。 							
	課長名	佐々木 健志		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	45,175 千円	人件費	目安の金額	課長	1
				平成28年度当初予算額(B)	45,175 千円				係長	1	人
				増減額(A-B)	0 千円		51,500 千円		職員	4	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度当初予算額(千円)	平成29年度当初予算額(千円)	当初予算の増減額(千円)
1				広聴事務事業	「市民意識調査」、「市政モニター」、「出前講演」、「法律人権相談」を通じて、市民意見等を収集、把握し市政運営に反映させる。	市政情報の提供及び市民意識の適宜、的確な把握	より幅広い市民意見等の把握	各事業のPRに努め、幅広く市民意見等を収集、把握し市政運営に反映させる。	9,134	9,134	0
2				広聴業務管理事務	広聴課業務の管理運営及び庁舎案内業務。				7,973	7,973	0
3				北九州市コールセンター運営事業(債務負担)	市の施設案内や手続きなど市政情報や生活情報等を提供する。	市民からの問合せ、相談、苦情等に対する適切な対応	コールセンターを利用する市民の満足度を維持しつつ、より効率的な運営を図る。	受託業者への市政情報の積極的提供等を含め連携強化を図るとともに、コールセンターのより効率的な人員配置を行う。	25,545	25,545	0
4				北九州市コールセンター運営事業					1,983	1,983	0
5				「市民のこえ」統計情報システム	電話、手紙等で寄せられる「市民のこえ」をデータベース化するとともに、各種の統計作成検索等の簡素化を図る。		市政の施策、事業への反映	担当部署との情報共有及び活用促進を図る。	540	540	0

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 地域振興課		重点項目	住民主体の地域づくり・まちづくりに向けて、地域団体の活動を支援するとともに、活動拠点となる市民センターの充実を図る。									
	課長名	倉光 清次郎		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	2,976,070 千円	人件費	目安の金額	課長	2	人	
平成28年度当初予算額(B)			2,973,755 千円			95,500 千円	係長		2	人			
					増減額(A-B)	2,315 千円	職員					7	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度当初予算額(千円)	平成29年度当初予算額(千円)	当初予算の増減額(千円)
1	○			戦時資料展示コーナー管理運営事業	市民から寄贈された戦時下の資料を展示することで、多くの市民に戦争がもたらした惨禍と平和の尊さの理解を図る。	平和の尊さへの理解促進	多くの方に来館していた。	チラシの配布拠点を増やすなど、広報につとめる。	1,420	1,453	33
2	○			地域コミュニティ活性化推進事業	住民自らが地域課題の把握や解決のための処方箋づくりを行う「地域カルテづくり」事業や、地域カルテに基づく地域課題解決に向けた具体的活動を行うまちづくり協議会を支援する「フォローアップ事業」を実施する。	住民主体の地域づくりの促進	自治会やまちづくり協議会の加入世帯数及び活動参加者の減少のため、十分な活動に取り組めない地域団体もあり、地域の活動に差が生じている。	・自治会加入促進に向けた取り組みや、地域活動の参加者増加に向けた取り組みを引き続き支援する。 ・地域課題の認識を深め、活動参加者を確保する活動である「地域カルテづくり事業」について、企画から実践までを支援する。	4,326	5,180	854
3			市政連絡事務委託	自治組織と配布委託契約を締結し、市が発行する市民への周知文書を各世帯に配布する。	325,417				321,568	-3,849	
4	○		自治会等コミュニティ活動促進事業	自治会の加入促進や活性化に向けた取り組みを支援するとともに、自治会等が開催する地域づくりの勉強会のための講師を派遣する費用を助成する。	28,172				28,172	0	
5	○		地域総括補助金		274,567				280,063	5,496	
6	○		防犯灯設置補助事業(地域総括補助金)	市役所各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を一本化した、地域総括補助金をまちづくり協議会に交付し、まちづくり協議会を中心に地域が一体となった地域づくりを促進する。	106,716				105,943	-773	
7	○		公民館類似施設等設置事業(地域総括補助金)		3,012				3,820	808	
8	○	○	<新>自治会加入促進事業	自治会未加入者が気軽に自治会へアクセスできる新しい自治会加入手続きツールを提供するとともに、共同住宅関連団体や包括協定を締結した企業等の民間団体と連携した自治会加入促進を行う。	△				8,700	8,700	
9	○	○	共同住宅における自治会加入促進支援事業	自治会にマンション管理士やまちづくり専門家を派遣し、分譲マンション管理組合の規約整備や活動への助言等を行うとともに、共同住宅関係団体等と連携して、既存の分譲・賃貸マンションの住民に対する自治会加入促進事業を行う。 ※H29年度は「自治会加入促進事業」に統合					1,050		-1,050

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)	
10	○		○	地域カルテフォローアップ事業	地域コミュニティ強化を図るため、地域活動参加のきっかけづくりや、さまざまな団体の連携による課題解決に向けた活動の支援を行う。	住民主体の地域づくりの促進	自治会やまちづくり協議会の加入世帯数及び活動参加者の減少のため、十分な活動に取り組みない地域団体もあり、地域の活動に差が生じている。	・自治会加入促進に向けた取り組みや、地域活動の参加者増加に向けた取り組みを引き続き支援する。	2,000		-2,000	
11	○		○	市内いっせい自治会加入促進強化月間事業	自治会の重要性や活動への理解促進を図るため、自治会活動等をわかりやすく紹介するPR冊子を作成し、全世帯に配布します。また、配布月に合わせ、集中的にPR活動を展開する。				・地域課題の認識を深め、活動参加者を確保する活動である「地域カルテづくり事業」について、企画から実践までを支援する。	4,400		-4,400
12	○		○	ようこそ北九州市に”転入者ウェルカムパスポート”事業	市外からの転入者に、自治会から文化施設への入場ができるパスポートを配付し、本市の魅力を感じてもらおうとともに、新たに居住する地域の自治会活動への参加等の促進を図り、地域と繋がるきっかけづくりを進める。 ※H29年度は「自治会加入促進事業」に統合	・定住促進 ・住民主体の地域づくりの促進	—	—	3,200		-3,200	
13				つどいの家設置等補助事業	住民が相互の交流を深める場である集会所(つどいの家)の設置・改修に対し補助金を交付する。	地域コミュニティ施設の充実	地域活動の拠点として、さらに活用を促すため、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行う必要がある。施設・設備の老朽化等に対応し、計画的に改修を進める必要がある。	住民により身近な集会施設の確保を支援する。	4,150	4,100	-50	
14	○			市民センター整備事業	地域活動の拠点施設として機能維持・向上を図るため、施設・設備の老朽化等に対応し、大規模改修や部別別改修等を計画的に行う。				地域活動の拠点である市民センターについて、安定的な運営体制の確保に努めるとともに、機能の向上を図る。	306,831	380,338	73,507
15	○		○	学研地区市民センター建設事業	若松区の学研地区にひびきの小学校が新設されることから、新たな校区における地域活動を支援する拠点として市民センターを新設する。				103,050		-103,050	
16	○			市民センター管理運営事業	市民(サブ)センター136館の管理運営を行い、市民センターを拠点とした地域づくりを推進する。				1,790,696	1,821,088	30,392	
17	○		○	市民センターパソコン等再リース事業	27年度に契約期間満了する、市民センターの事務用パソコン及びプリンターについて、28年度は再リース契約により継続使用する。	地域コミュニティ施設の充実	地域活動の拠点として、さらに活用を促すため、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行う必要がある。施設・設備の老朽化等に対応し、計画的に改修を進める必要がある。	地域活動の拠点である市民センターについて、安定的な運営体制の確保に努めるとともに、機能の向上を図る。	4,700		-4,700	
18	○			市民センター管理運営事業(債務負担)	市民センターの事務用パソコン及びプリンターについて、リース契約により更新を行う。(29～33年度)				0	7,997	7,997	
19	○		○	市民センターAED保守管理事業	市民センター全館に設置したAEDについて、使用期限となる消耗品の更新を行う。				9,000		-9,000	
20	○		○	<新>市民センターAED更新事業(債務負担)(H29年度～H34年度)	平成22年に市民センターに設置したAEDが耐用年限に達するため、リース契約により更新する。					6,600	6,600	
21				地域振興課一般管理費	課の管理運営に係る経費。	その他	—	—	1,048	1,048	0	

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 市民活動推進課		重点項目	NPO・市民活動の促進及び協働の推進を図る。								
	課長名	山田 英彦		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	56,706 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
平成28年度当初予算額(B)			56,717 千円			54,000 千円	係長		2	人		
					増減額(A-B)	-11 千円						
								職員	3	人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			NPO・市民活動促進事業	NPO・市民活動に関する、相談・助言・情報提供など、活動の側面的な支援を行う。	NPO・市民活動の促進	市民にNPO・市民活動についての理解を深めてもらうとともに、新たな活動参加者の掘り起こしが必要。	NPO活動の入門講座や講演会を引き続き開催し、市民活動の視野を広げていく。	17,431	17,346	-85
2	○		市民活動サポートセンター施設管理費	市民活動サポートセンターの管理運営に係る経費。	2,989				2,791	-198	
3			市民活動保険	市民が安心して市民活動に参加できるよう市が保険料を負担し、一定の補償を行う保険制度を実施する。	5,000				5,000	0	
4			まちづくりステップアップ事業	市民が主体的に取り組む地域の特性を活かした活動に対して、補助金を交付する。	NPOの育成・支援	団体の活動を活性化させるためには、企画力、資金調達力の向上が必要。また、NPO法人への参加や寄付を促すためには、法人の適正な運営が必要。	NPO法人の適正運営のため、研修等の充実を図る。	6,961	7,221	260	
5	○		NPO公益活動支援事業	NPO等が専門性を発揮して行う取り組みに対して、補助金を交付する。				2,744	2,489	-255	
6	○		多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	多様な主体による協働の推進	協働に対する認識・理解を高め、多様な主体との連携を進めることが必要。	様々な団体間のネットワークづくりのため、NPO・企業・大学生の交流会及びマッチングを引き続き実施。平成29年度は補助事業を拡充し、企業・地域との協働事業の立ち上げを支援。	2,198	4,698	2,500	
7		○	NPOと企業の協働マッチング事業	多様な主体による市民活動の輪づくり事業に統合				2,500		-2,500	
8	○		「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	協働に関わる人材育成を目的とした研修を実施する。				1,919	1,962	43	
9	○		市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業	「環境未来都市計画」の推進に行政・企業・地域と協働して取り組む市民活動団体等に対して補助金を交付する。				4,954	5,206	252	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10				旧古河鉱業若松ビル 管理運営事業(指定管 理)	旧古河鉱業若松ビルの指定管理経費。	その他	—	—	8,351	8,304	-47
11			旧古河鉱業若松ビル 管理運営事業	旧古河鉱業若松ビルの修繕費。	395				395	0	
12			旧庄司小学校活用事業	旧庄司小学校の維持管理費。	1,115				1,134	19	
13			車両更新事業	公用車のリース経費。	160				160	0	

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局生涯学習課		重点項目	・学んだ人材を活動につなげる「循環型生涯学習社会」づくりの推進 ・多様な主体が協働して学習機会を提供する「ネットワーク型生涯学習社会」づくりの推進			
	課長名	梅下 勝己		コスト	事業費	人件費	目安の金額
			平成29年度当初予算額(A)	56,874 千円			
			平成28年度当初予算額(B)	56,227 千円			
			増減額(A-B)	647 千円			
					71,500 千円		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				関係団体補助金	北九州市社会教育関係団体の会員が、その自発的な学習意欲に基づき、豊かな人間性を培うとともに、社会教育関係団体が積極的に活動することを目的とし、別に定められた団体の事業(機関紙発行、研修集会参加、研究会開催)の実施に係る費用の一部に補助金を交付するもの。交付対象事業は、婦人教育関係。	社会教育団体の発展を促進する。	定期的に機関紙を発行するとともに、各種研修集会への参加や研修会の実施に向けた支援を行っている。今後も、事業の実施に向け継続した支援が必要である。	昨年と同様の手法で実施する。	1,100	1,100	0
2				北九州市婦人団体協議会委託事業	地域や団体のリーダーとして女性が活動するにあたり、必要な知識を得るとともに社会参画の意識を高めることを目的とした、婦人団体の指導者研修集会を年1回開催している。また、団体の情報発信を行い団体の相互理解を深めるとともにネットワークを広げることを目的として発行する広報紙の作成に必要な技法を習得するための広報研修会の運営を委託して実施する。	婦人の能力を生かした社会参加を促進する。	地域活動や団体活動に必要なリーダーが不足している。また、婦人団体の活動に参画する人材が不足している。	地域や団体が行う様々な活動に参画する人材及びリーダーとして活動を牽引する人材を継続して育成する必要があるため、指導者研修集会及び広報研修会を実施する。	700	700	0
3				各種委員会(社会教育委員)	社会教育の各分野の専門家を社会教育委員に委嘱・任命し、委員は教育委員会に対し、社会教育に関して助言を行う。このため、定時又は臨時に会議を開き、社会教育行政や生涯学習の推進について議論を行う。	社会教育の推進	女性参画率の引き上げ、活動内容の検討	会議における協議内容を吟味し議論の活性化を図る。	934	951	17
4			○	社会教育管理運営費	社会教育関係研修参加費等一般管理費	その他	—	—	1,461		-1,461
5				公民館類似施設設置費等補助金	公益法人や町内会等の地域が設置する公民館類似施設に対し、設置、改修(エアコン設置を含む)、及び運営の助成を行うため、補助金を交付する。	地域における社会教育の奨励	予算の範囲内での効果的・効率的な支援	各公民館類似施設への補助交付額の見直しを含めた効果的・効率的な支援策の検討	706	6,000	5,294
6				公民館類似施設運営費補助金					5,127	1,428	-3,699
7				生涯学習管理運営費	社会教育関係研修参加費、生涯学習課、区コミュニティ支援課における生涯学習活動推進のための一般管理経費	その他	—	—	7,068	8,512	1,444

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8			○	若松生涯学習センター外壁改修工事	建物全体の劣化が顕著である若松生涯学習センター(若松市民会館と合築)に対する改修工事を実施する。	公共施設の適切な維持管理	—	—	2,500		-2,500
9	○			家庭・地域・学校パートナーシップ事業	(1)家庭・地域への啓発事業 ◎家庭教育の啓発事業 ◎家庭教育に関する学習機会の充実 ◎家庭教育・子育て支援体制の整備 (2)家庭・地域・学校の連携事業 ◎地域と学校が支える子どもの体験活動 ・生き生き/リアフリー ・生活体験通学合宿 ・地域・子ども交流事業 (3)「まなびネットひまわり」管理運営	地域・家庭・学校が連携して教育力の向上に取り組む体制づくりを行う。	・家庭教育に関心のある保護者とそうでない保護者の二極化傾向が見られる。 ・子育てサポーターの交流や情報交換の機会を設け、活動しやすい環境を整える必要がある。 ・「生活体験通学合宿」については、実施効果は高いが、地域ボランティアの協力が不可欠で地域の負担が大きく実施館が減少している。	・家庭教育学級の実施や、幼児期の保護者への啓発を強化するため市民センターで講座を行う。 ・市民センターにおいて、子育てサポーターが活躍できる講座を開講する等、今後、子ども家庭局と協議し、同サポーターの活用策について具体化を目指す。 ・その他、「生活体験通学合宿」など子どもの体験活動及び世代間交流の機会等を提供する事業については、事業のあり方も含め、より充実した内容で実施できるよう検討する。	9,358	9,473	115
10	○			生涯学習活動促進事業	各市民センター等で、時事問題や地域課題の解決をめざす講座、社会貢献活動につながる講座、生きがいづくりをめざす講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。	学習情報を提供するとともに、学習の成果を生かすことのできる活動機会を提供する。	生涯学習市民講座の参加者数は目標に達していない。今後も、地域の特色を生かした講座、市民の学びのニーズに合った講座を引き続き実施していくとともに、人づくり、地域づくりのためのより効果的な講座などを開催し、より多くの方に多様な学習機会を提供していく必要がある。また、地域デビューした住民に対し、29年度以降も活動の場や役割を提供するなど、引き続きサポートしていく必要がある。	地理的な理由から市民センターを利用しにくい住民へ学習機会を提供するため、サブセンターでも講座を実施するとともに、引き続き、地域課題解決に向けた講座を実施するなど多様な学習機会を提供していく。また、地域デビュー支援事業については、前年度に実施した市民センターが取り組みの成果を出して人材育成につなげることができるよう、効果測定を検討する。	15,329	15,463	134
11	○			生涯学習推進コーディネーター配置事業	多様化・高度化する市民の学習要求に応え、生涯学習事業の充実及び学習の促進を目的に、市民センターに生涯学習推進コーディネーターを配置する。	多様化・高度化する市民の学習要求に応え、生涯学習事業の充実及び学習の促進を目的とする。	生涯学習推進コーディネーターが増えないという課題がある。	生涯学習推進コーディネーターの配置の意義、効果に加え、人材の見つけ方などを社会教育主事等が助言しながら、全館配置に向け取り組むとともに、配置されたコーディネーターが定着するよう研修等を通じて活動しやすい環境を整える。	10,948	10,705	-243

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12				民間教育事業者(カルチャーセンター等)との生涯学習ネットワーク構築事業	(1)ネットワーク構築のための協議会設置、開催 (2)民間との役割分担の推進についての調査・分析費用	民間教育事業者と生涯学習ネットワークを構築し、重複事業の適正化、市民に対する総合的な学習情報の提供を図る。	他部局や民間事業者等が行う事業にも視点を広げ、事業の統合、整理等を行い、より効果的、効率的な実施体制を構築する必要がある。	平成28年度北九州市行財政改革推進計画を踏まえつつ、検討を進める。	800	800	0
13				公用車リース(区コミュニティ支援課)	八幡東区コミュニティ支援課生涯学習係が使用する公用軽自動車のリースに係る経費	その他	—	—	196	196	0
14	○	○		<新>地域課題解決のための人材活用支援事業	地域が主体的に地域課題を解決することができるよう、地域人材の発掘～育成～活用までを体系的に支援し、地域力アップにつなげる仕組みをつくる。 (1)人材マッチングモデル事業 (2)地域活動をリードする人材育成事業	地域が主体的に地域課題を解決することができるような仕組みづくりを図る。	学んだ成果を活かしたい人はいるが、学習者や活動者と地域との顔つなぎができていない。地域をリードする人材育成についても、各人材に求められる資質・能力が明確にされていないため、研修体系が整備されておらず、効果的な研修が行われていない。	学んだ成果を地域に活かすセミナー及び交流会を開催し、地域との顔つなぎを行う。また、人材育成のための研修を充実させる。		1,000	1,000
15		○		<新>地域づくりマネジメント研修事業	地域活動をリードする市民センター館長以外の人材(市民センター職員、まちづくり協議会会長・役員、生涯学習推進コーディネーター等)に対し、求められる資質や能力を向上させる研修を行う。	地域において、地域課題を主体的に考える人材を増やすことで、生涯学習活動の推進、地域活動の活性化に向けた、地域全体への意識付けを目指す。	研修機会はあるものの、地域づくりを担うキーパーソンとして育成するには、内容が不十分である。	地域課題の見つけ方や、企画力、ファシリテーション力、コミュニケーション力などの能力を向上させる研修を実施する。		546	546

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局生涯学習総合センター 管理運営課		重点項目	市民の新たな学習ニーズに対応する人材育成・調査研究・情報発信・学習相談等の機能をさらに集約・強化する。 また、市民の学習活動の場として一層の利用促進を図る。 安全・安心な生涯学習の場を提供する。							
	課長名	黒野 まゆみ		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	280,915 千円	人件費	目安の金額	課長	1
				平成28年度当初予算額(B)	246,677 千円				係長	3	人
				増減額(A-B)	34,238 千円		56,500 千円		職員	2	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			生涯学習総合センター事業	生涯学習情報の提供、人材育成、生涯学習支援、高度な学習ニーズに応える講座の実施などにより、生涯学習社会の実現を目指す。	生涯学習による 人材育成等	・変化する社会的課題や地域課題の解決につながる人材育成。	・多様化する課題を的確に把握するとともに、高等教育機関等との連携を更に進めていく。	5,384	5,304	-80
2				生涯学習センター改修事業	生涯学習センターの老朽化対策及び施設の健全保全や利便性の向上を図るため、改善・保全を行う。		—	—	2,992	2,990	-2
3				生涯学習センター管理運営費	生涯学習総合センター(婦人会館含む)及び生涯学習センター(8館)の管理運営にかかる経費		—	—	1,599	1,897	298
4				生涯学習センター維持管理費	生涯学習総合センター(婦人会館含む)及び生涯学習センター(8館)の維持管理にかかる経費		—	—	213,456	212,892	-564
5				コムシティ管理経費	八幡西生涯学習総合センターのコムシティ管理経費の負担分		—	—	18,246	16,772	-1,474
6				「学びの環」推進フォーラムの開催	学びの成果を活かし、地域や団体の活動、更なる学習に循環させていく「学びの環」の推進を図るフォーラムを開催する。平成28年度11月に第1回フォーラムを開催、それに続く第2回目となる。		—	—	1,000	1,000	0
7			○	小倉南生涯学習センター舞台設備更新工事	小倉南生涯学習センターの舞台設備は竣工後39年が経過し、経年劣化が見られるため、危険性の高い滑車の交換を28年度に実施するもの。	生涯学習施設の維持 管理・管理運営	—	—	4,000		-4,000
8		○		〈新〉若松生涯学習センター大規模改修工事(実施設計・改修工事)	若松生涯学習センター・若松市民会館合築の建物について危険箇所が発見されたため、建物全体の外壁部分について大規模改修工事を行う。		—	—		30,600	30,600
9		○		〈新〉小倉南生涯学習センター舞台設備更新業務	経年劣化が見られる小倉南生涯学習センターの舞台設備の緞帳裏地全体・パイプ袋の取替と、緞帳幕地の修繕・洗浄及び消防法で義務付けられている防災加工を平成29年度に行うもの。		—	—		8,000	8,000
10		○		〈新〉生涯学習センターAED更新	各生涯学習センターに設置したAED6台については、平成22年に購入し、平成29年度に耐用年数である7年が経過する。そのため、新規購入し、更新を行うもの。		—	—		1,460	1,460

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 八幡西生涯学習総合センター		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の新たな学習ニーズに対応する人材育成・情報発信・学習相談等の機能を強化するとともに、市民の学習の場として一層の利用促進を図る。 ・また、北九州ひとみらいプレイスの事務局として人づくり支援の充実等をめざす。 						
	課長名	福岡 賢司		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	18,924 千円	人件費	目安の金額	課長
				平成28年度当初予算額(B)	18,962 千円				係長	1 人
				増減額(A-B)	-38 千円		36,500 千円		職員	2 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度当初予算額(千円)	平成29年度当初予算額(千円)	当初予算の増減額(千円)
1	○			八幡西生涯学習総合センター事業	市民カレッジ及びボランティア養成講座を実施する。	多様な学習ニーズに対応した学習機会の提供及び地域活動のリーダー育成	地域特性を踏まえたプログラムの開発と拡充	・地域住民の学習ニーズ及び地域活動の実態を把握のうえ、関連施設と協働し事業を企画・実施する。	2,261	2,281	20
2				北九州ひとみらいプレイス管理運営費	北九州ひとみらいプレイス及び八幡西生涯学習総合センターの管理運営にかかる経費	北九州ひとみらいプレイス及び八幡西生涯学習総合センターの管理運営	—	—	10,289	10,289	0
3				北九州ひとみらいプレイス事業	本市の人づくり支援機能の新たな事業展開とともに副都心黒崎のにぎわい創出にも取り組む。	これからのまちづくりを支える人づくり支援と副都心黒崎のにぎわいづくり	新たな人づくり支援事業の構築及び北九州ひとみらいプレイス内各施設の連携促進	・人づくり支援事業の新たな展開を図る。 ・ひとみらい交流ウィークの継続・深化を図る。	6,169	6,169	0
4				公用車更新	八幡西生涯学習総合センター所管の公用軽自動車について、リース契約による使用料を支出する。	その他	—	—	243	185	-58

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 文化企画課		重点項目 ・北九州市らしさや特長をさらに強化し、市民のシビックプライドを醸成する ・次代の担い手を育て、新たな文化芸術の創造につなげる ・文化芸術を生かした、ひとづくり、まちづくり、にぎわいづくりに取り組む ・本市の文化芸術の魅力を国内外に、積極的に発信する							
	課長名	川邊 健		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	2,761,078 千円	人件費	目安の金額	課長
			平成28年度当初予算額(B)	2,685,774 千円		266,000 千円	係長		10	人
			増減額(A-B)	75,304 千円			職員		16	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度当初予算額(千円)	平成29年度当初予算額(千円)	当初予算の増減額(千円)	
1				市民文化表彰	本市の文化芸術活動において活躍し、その功績が極めて大きい個人・団体を讃えるため創設した表彰制度に関する経費。	市民の文化芸術活動の促進	①応募が年々減少していることへの対応 ②地域貢献度を賞に反映させる必要がある	①より応募が増えるように次年度に向けて応募方法の見直しを行う。 ②次年度に向けて地域貢献度を選定基準に盛り込むことについて検討を行う。	1,682	1,629	-53	
2		○		<新>アーツディレクター会議運営事業	専門家から、文化芸術に関する本市への助言をいただき、その助言を活用することで、創造的なまちづくりを進める。		・助言をいただく場の整備 ・助言の活用	地域に根ざした文化芸術をさらに発展させるため、専門的な助言を受けるしくみとしてアーツディレクターを中心とした協議の場を新たに設ける。		2,000	2,000	
3		○		北九州市文化振興基金	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として設置された北九州市文化振興基金の運用益をもとに、市民の行う文化芸術活動等に対し助成を行う。			市民が主体となった文化芸術活動支援の一層の充実	文化芸術に関する市民の自主的な活動を更に活発化し、その内容がレベルアップするよう効果的な支援を行っていく。	10,130	11,190	1,060
4			○	北九州市文化振興基金積立金	宗左近の妻・香氏の不動産、預金の遺贈を受け、全額を文化振興基金に積み立てる。			—	—	30,000		-30,000
5		○		芸術文化育成負担金・補助金	本市の文化水準の向上、個性ある地域文化の振興のため、積極的に文化活動を展開している文化団体等への支援を行う。			市民への優れた文化芸術事業の継続的な提供	市民にとって適切な対象事業であるか、補助効果を定期的に検証し、有効性について検証する。	36,450	36,350	-100
6				芸術文化振興財団委託事業	市民の多様な芸術文化ニーズに対応した事業を実施し、芸術文化の振興に寄与するために、北九州市芸術劇場指定管理や響ホール指定管理による事業を行う。			市民への優れた文化芸術事業の継続的な提供	市の外郭団体を有効に活用し、計画的に事業を進める。実施にあたっては、経済性や効率性も考慮に入れた運営を行う。	92,336	88,052	-4,284
7				北九州芸術劇場修繕工事実施事業	「北九州芸術劇場」のスムーズな施設運営を図るため、舞台設備等の予防保全的な修繕・改修を計画的に行う経費。			①老朽化した施設の計画的な改修	①工事の優先順位をつけ、計画的に修繕を行う。	57,600	60,770	3,170
8				アルモニーサンク等改修事業	アルモニーサンク北九州ソレイユホールの改修を行うための経費。			②さらに利用しやすい施設の管理運営	②指定管理者との連携を強化し、「快適性」「利便性」「自主図案」に大別されるサービスの更なる向上を求めていく。	25,000	23,300	-1,700
9				八幡市民会館閉館関連事業	平成28年3月で閉館した八幡市民会館の機械警備等に係る経費。					7,100	300	-6,800

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10				若松市民会館大規模改修工事(基本設計・実施設計)→<H29:(実施設計・改修工事)>	若松市民会館の改修を行うための設計と工事に係る経費。	市民の文化芸術活動の促進	①老朽化した施設の計画的な改修 ②さらに利用しやすい施設の管理運営	①工事の優先順位をつけ、計画的に修繕を行う。 ②指定管理者との連携を強化し、「快適性」「利便性」「自主図業」に大別されるサービスの更なる向上を求めていく。	6,400	80,700	74,300
11		○	黒崎文化ホール案内板設置工事	黒崎文化ホールのネーミングライツ契約に関する経費。	2,700					-2,700	
12		○	<新>響ホール改修工事実施事業	国際村交流センターの2階の空きスペースを、小ホール(リハーサル室)及び練習室として改修し、音楽の拠点としての機能強化を図る。					40,000	40,000	
13			黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業(ホール)	平成24年度にオープンした「黒崎ひびしんホール」の施設整備に係る対価分。	118,638				118,722	84	
				「黒崎ひびしんホール」の施設維持管理・運営業務および芸術文化事業に関する経費。	180,115				180,115	0	
14			大手町練習場運営経費	大手町練習場の維持管理に関する経費。	36,215				36,215	0	
15			市民会館運営経費	市民会館(門司、若松)の維持管理に関する経費。	130,844				129,598	-1,246	
16			戸畑市民会館管理運営費	戸畑市民会館の維持管理に関する経費。	116,772				116,772	0	
17			北九州芸術劇場運営費	北九州芸術劇場の維持管理に関する経費。	894,525				894,525	0	
18			響ホール運営費	響ホールの維持管理に関する経費。	129,818				129,818	0	
19			国際村交流センター改修等工事	国際村交流センターの改修工事。	10,104				10,104	0	
20			芸術文化施設改修工事	芸術文化施設の改修工事。	16,778				16,778	0	
21			芸術文化施設管理費	芸術文化施設の維持管理に関する経費。	5,106				5,106	0	
22			リバーウォーク北九州管理組合負担金	リバーウォーク北九州管理組合の負担金。	24,107	25,213	1,106				
23			旧百三十銀行ギャラリー運営経費	旧百三十銀行ギャラリーの維持管理に関する経費。	6,235	6,073	-162				

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)	
24				(財)地域創造負担金	全国自治宝くじ販売計画に基づく「芸術文化くじ持寄金」として支出するもの。	市民が文化芸術に接する機会の拡大	文化芸術の情報をより効果的に発信すること	全国から情報が集まる当該団体を有効に活用し、効果的なPRに努める。	7,680	7,774	94	
25		○	<新>(仮称)市内文化施設等共通パスポート事業	文化施設の利用促進とまちの賑わいを創出するため、市内の文化施設巡りが1枚で出来る共通観覧券(パスポート)を試験的に導入(1日パス、3日パス)し、利用状況等の調査研究を行い、本格実施の可能性を検討する。	各施設の入館者数に繋げる制度設計が必要		入館者数の増と並行して料金設定やパスの種類、参加施設など、収入を最大限増やすことができる制度の設計を行う。			3,000	3,000	
26		○	<新>文化芸術情報発信強化事業	「文化芸術の街・北九州」を市内外へ広く発信するため、ホームページや情報コーナーの整備、文化イベント情報一元化を目的とした情報集約システムの構築を図る。また、各区文化祭の合同開会式を開催し、市民の文化活動の活性化につなげる。	・情報発信の不足 ・SNS等を活用したタイムリーな広報		ホームページの充実をはじめとした戦略的な広報の推進。情報の集約、一元化による効率的・効果的な発信。				3,500	3,500
27			文化情報提供事業	文化芸術情報を発信するため、冊子(フリーペーパー)「かるかる」を発行する。						19,629	19,629	0
28			北九州ミュージアムウィーク連携事業	博物館・美術館等が連携する「北九州ミュージアムウィーク」を開催するための経費。	イベント期間中の来館者数の増加		企画内容を充実し、効果的なPRに努める。		2,250	2,250	0	
29	○			北九州文学サロン管理運営事業	平成29年3月に開設の「北九州文学サロン」の管理運営を行い、施設の利用促進を図る様々な取り組みを実施しながら、「文学の街・北九州」を発信する。	発信力の高い文化芸術の振興	多くの人が気軽に文学に接しやすくなる仕組みづくり	本市ゆかりの俳人の顕彰を行うとともに、小倉都心部に点在する文化資源等を有機的につなげる仕組みづくりを行う。	22,000	12,000	-10,000	
30	○			児童文学の顕彰事業	本市ゆかりの児童文学を顕彰するため、平成30年度に開設予定の子ども図書館の一角に、児童文学の顕彰コーナーを整備する。(行政経費)		より多くの人に利用してもらえるような拠点施設の展示計画・図面の作成	本市の児童文学についての資料と情報資源を活用し、様々なかたちで児童文学に触れることのできる場づくりについて調査研究する。	3,000	4,800	1,800	
31	○	○		<新>児童文学の顕彰事業	本市ゆかりの児童文学を顕彰するため、平成30年度に開設予定の子ども図書館の一角に、児童文学の顕彰コーナーを整備する。(投資的経費)			本市の児童文学についての資料と情報資源を活用し、様々なかたちで児童文学に触れることのできる場づくりを行う。			14,800	14,800
32				<新>杉田久女・橋本多佳子顕彰事業	本市ゆかりの俳人である杉田久女・橋本多佳子の業績について観光客等にPRを行うため、展示コーナー等を設置する。		図書館横の雑木林を整備し、小倉城周辺の回遊性を高めること	施設の展示内容や樹林地の利用など、訪れた人が魅力を感じるような整備の設計とする。	2,700	13,000	10,300	
33	○			芸術文化活性化事業	【劇場・自主事業】 北九州芸術劇場オリジナルの演劇作品等を制作し、公演を実施する。 【響ホール・自主事業】 室内楽専用ホールの特性を活かした室の高いコンサートや、響ホールを拠点とした地元演奏家を積極的に育てるコンサートを行う。	・芸術劇場、響ホールの特性や地域性を活かし他行事の充実 ・来場者満足度の一層の増加	市の外郭団体を有効に活用し、計画的に事業を進める。実施にあたっては、経済性や効率性も考慮に入れた運営を行う。	141,839	134,851	-6,988		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
34				芸術文化活性化事業(事業安定化対策)	興業が中止となった場合などに生じる主催者負担を担保するため、留保付で予算を確保するもの。財団全体として資金ショート の恐れが生じた際に執行する。	発信力の高い文化芸術の振興	より魅力的で芸術性の高いプログラムの実施・街の賑わいづくりや発信力アップ	市の外郭団体を有効に活用し、計画的に事業を進める。実施にあたっては、経済性や効率性も考慮に入れた運営を行う。	50,000	50,000	0
35	○			北九州国際音楽祭	平成29年度で30回目を迎えることを記念して、国内外で活躍するアーティストを招聘したコンサートの開催など、バラエティに富んだプログラムを提供する。		より魅力的で芸術性の高いプログラムの実施・街の賑わいづくりや発信力アップ	企画内容や実施方法をより充実させ、経済性や効率性を意識した取り組みを今後も継続する。	40,000	50,000	10,000
36	○			「合唱の街づくり」推進事業	子供たちや若者を中心としたより多くの市民が合唱に親しみ、市民の歌声が響く「合唱の街づくり」を進めるため、市内外へ「合唱の街」をPRするとともに、合唱体験のワークショップ等を行う。		幅広い層に合唱が普及するための手法や事業の検討	合唱分野の関係者から意見を聴くなどして、効果的な手法の検討を進める。	8,000	12,000	4,000
37	○			現代美術センター・CCA北九州支援事業	現代美術の世界的な拠点の一つとなることを目指して活動している研究・学習機関であり、若手アーティストの指導育成、招聘アーティストによる新作発表会のための展覧会等を開催するとともに、その活動を広く市民に浸透させるための市民美術大学美術講座などの事業を行っている。		・市民へのCCA活動の一層の浸透及び受講生やプログラム参加者の確保 ・創造的な都市としての魅力を伝えるための効果的なシティプロモーション	・受入れ分野の多様化、地域、他機関等との協力を行いながら、充実したプログラムを実施する。 ・多機関等との連携を深め、効果的な事業実施を行い、地域の賑わいにつながる展覧会等を実施する。	55,175	45,000	-10,175
38				松永文庫管理・運営経費	本年5月の日本映画批評家大賞特別賞の受賞により、全国的に注目が集まっていることから、東京豊島区において企画展を実施するほか、事務員の増員や備品の充実等により、「映画の街・北九州」のシンボルとして、国内外に情報を発信する。		・松永文庫の認知度向上 ・来館者・リピーターの増加	常設展を工夫しつつ、機会を捉えて松永文庫のPRを行う	7,000	7,000	0
39	○			松永文庫企画事業	松永文庫の運営体制の充実を図り、企画展示と併せてトークイベント等を開催するなど「映画の街・北九州」のシンボルとして、国内外に情報を発信する。			魅力的な企画展やイベントを行うことで、発信力を高めていく	6,500	9,000	2,500
40			○	追悼特別展「高倉健」開催事業	映画文化の振興、「映画の街・北九州」の全国的な情報発信のため、本市ゆかりの映画俳優・高倉健氏の特別展を開催する。		—	—	15,000		-15,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
41				映画・テレビドラマロケ地誘致支援助成金事業	北九州市内で撮影を行う映画・テレビドラマの製作者に対して、1件あたり3,000千円(海外作品は5,000千円)を上限として市内の宿泊費等相当額を助成する。	発信力の高い文化芸術の振興	映画等の撮影支援を通して、本市の知名度・都市イメージの向上や経済効果のほか、にぎわいの創出、シビックプライドの醸成などの効果に現れてきた。これらの効果をさらに高めていく必要がある。	映画やテレビドラマを通じて、本市の魅力を国内外に発信するため、引き続き、フィルム・コミッション活動を推進する。特に、新たに観光客の獲得を見据え、海外作品の誘致に力を入れるなど、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドのさらなる確立に向けた取組みを強力に推進する。	6,200	6,200	0
42			海外作品等誘致・支援事業	海外の映画・テレビドラマ作品の撮影を誘致することにより、本市の魅力を海外に発信し、インバウンドを増加させる。さらに、本市の映画文化を活用して、アジアの若者に対する北九州市の知名度やイメージ向上を図る。アニメ作品の誘致にも取り組む。	10,000				10,000	0	
43		○	映画文化等を活用した北九州ファン創出事業	映画文化を活用して、アジアの若者に対する北九州市の知名度やイメージの向上を図ることにより、北九州ファンを創出し、将来的な海外作品の誘致につなげる。	2,400					-2,400	
44		○	<新>関門連携による国内外映画・テレビドラマ誘致支援事業	ロケ地としての北九州市・下関市の魅力等を活用し、国内外の映画・テレビドラマの誘致を行うとともに、インバウンドの増加につなげるための調査を実施する。					25,000	25,000	
45		○	<新>みんなで創る「映画の街・北九州」ブランド発信事業	「映画の街・北九州」という都市ブランドを市民レベルで共有するとともに、全国に発信するため、支援作品を活用して、映画にゆかりのある市民、事業者が一同に集まるPRイベントを開催する。					5,000	5,000	
46	○		映像製作誘致強化事業	本市の都市イメージの向上と交流人口の拡大による地域経済活性化のため、国内外の映画・テレビドラマ・CMなどのロケーション撮影の誘致・支援を行う。	10,688				10,188	-500	
47			公用車リース経費(文化企画業務)	フィルム・コミッション業務にて使用する公用車のリース料を支出。	238				174	-64	
49			門司港美術工芸研究所支援事業	門司港美術工芸研究所の活動支援に関する経費。	文化芸術の担い手の育成	街の賑わいづくりや発信力アップ、幅広い文化芸術の担い手の育成	企画内容や実施方法をより充実させ、経済性や効率性を意識した取り組みを今後も継続していく。	10,800	10,800	0	
50		○	門司港美術工芸研究所移転整備経費	門司港美術工芸研究所の移転に伴う経費。				—		-7,600	
51	○		優れた文化・芸術との“出会い”創造事業	・通常の演奏会や公演の鑑賞ではなく、様々な形で子供たちが身近に文化芸術を体験することでその面白さを楽しめるようにする芸術体験プログラム(ワークショップ等)等を行い、文化芸術を楽しむことができる内容とすることで新たな担い手の育成に供する。 ・子どもたちや若者が文化・芸術に接する機会を拡大するため、学校・地域等における教育普及活動(=アウトリーチ)やホール等の文化施設における文化・芸術活動等を充実させる。				18,000	18,000	0	
52		○	発信力の高い文化事業の支援(シテリオペラ)	質の高い音楽イベントを開催し、地域文化の向上を図ると共に、音楽文化都市としての情報発信を行うという趣旨で、北九州シテリオペラの公演を支援するもの。				5,000		-5,000	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
53	○	○		<新>小倉祇園太鼓調査事業	小倉祇園太鼓が国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されたことに伴い、文化財としての価値を明らかにすべく調査を行う。	地域における伝統文化の発掘・継承	文化財としての価値を明らかにするために、詳細な調査を実施する必要がある	「小倉祇園太鼓調査委員会」を開催し、多方面から詳細な調査を実施する。		10,520	10,520
54			○	高野地区ほ場整備に伴う埋蔵文化財発掘調査	農林課が行う高野地区ほ場整備事業を伴う発掘調査について、農家負担分(15%)を国庫補助事業により実施する。		—	—	3,334		-3,334
55				平尾台土地買上げ	平尾台保存管理計画に基づき、指定地域内の民有地を学術的に価値の高い地域から順次購入している。 なお、購入する地域については国・県と協議の上決定する。		文化財の保存・活用を行うこと	国・県や所有者などとも慎重に協議しながら、限られた予算の中で買上計画を進め、天然記念物の保護に努める。	23,529	23,529	0
56				埋蔵文化財発掘調査受託	開発者から受託した発掘調査を(公財)北九州市芸術文化振興財団(埋蔵文化調査室)に委託している。				87,947	69,686	-18,261
57	○			文化財保存補助	伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承する。		文化財の保存・活用を行うこと	優先順位をつけながら、文化財の保存・活用に努める。	1,007	1,052	45
58				芸術文化振興財団委託料(埋文調査室管理)	埋蔵文化財調査室の管理にかかる経費。				9,173	8,950	-223
59				文化財管理保全	地域の歴史や文化を後世に残すとともに、郷土愛を育むため、文化財公開施設の一般公開など、長い歴史の中で生まれ今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財の保存・活用を行う。				22,497	23,594	1,097
60				埋蔵文化財センター維持管理	市内で発掘調査された遺跡から出土した遺物を収蔵・展示している埋蔵文化財センターの維持管理に要する経費。	近代化遺産などの文化財の保存・継承		優先順位をつけながら、施設の維持管理に努める。	14,438	14,427	-11
61				埋蔵文化財収蔵庫維持管理費	市内で発掘した遺物収蔵施設(古城収蔵庫、道原収蔵庫、浜町収蔵庫)の管理運営費。				1,302	1,336	34
62				埋文発掘調査(国庫補助)	学術調査、個人住宅建設に伴う発掘調査、または開発行為に先立つ遺跡の範囲の確認調査を国庫補助事業により実施する。		文化財の保存・活用を行うこと		27,391	27,628	237
63				埋文発掘調査(市費)	学芸員の資質向上のための講習会受講、発掘・整理器材等の経費等。			引き続き、国や県と協議を重ね、適正な調査を行っていく。	1,006	1,587	581
64				文化財保存修理補助事業	指定文化財が老朽化し、保存・活用に支障をきたすため、所有者が主体となり補修を行うもの。				75,200	88,110	12,910
65			○	埋蔵事業収納倉庫移転事業	国の事業に伴い文化企画課所管地が買収されるため、当該地に所在する埋蔵事業収納倉庫の機能を埋蔵文化財センター等に移す。		—	—	2,900		-2,900
66			○	埋蔵文化財展示事業	城野方形周溝墓石棺の移築展示工事を実施し公開活用を図ることで、市民に郷土の歴史に触れる機会を設ける		—	—	23,000		-23,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
67		○		<新>埋蔵文化財収蔵庫等整備改修事業	収蔵庫及び埋蔵文化財センターについて老朽化等の理由により各種整備、補修を行うもの。	近代化遺産などの文化財の保存・継承	エレベーターの部品供給終了や、経年劣化による雨漏り等の対策が必要	各種整備を実施し、施設の安全性を確保する。		630	630
68				文化振興管理運営費	文化企画課の管理運営に係る経費。	その他	—	—	2,696	2,733	37

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 長崎街道木屋瀬宿記念館		重点項目	地域の伝統文化や文化振興の核になる施設として、機能の充実とともに集客を図る。				
	課長名	高巢 良平		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	27,357 千円	人件費
平成28年度当初予算額(B)			27,357 千円			19,000 千円	係長 0 人	
				増減額(A-B)	0 千円			

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				長崎街道木屋瀬宿記念館管理運営費	郷土の歴史・文化を学ぶことができる「みちの郷土史料館」と芝居小屋をモチーフとした多目的ホール「こやのせ座」がある。地元の団体が組織される「長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会」と行政が協働で管理・運営を行っている。	地域の伝統文化の継承及び文化振興	来館者の増加が課題である。	年間イベントにおける新規事業の企画・実施及び効果的な広報、PR活動を実施する。	27,357	27,357	0

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局スポーツ振興課		重点項目	「豊かなスポーツライフの形成・定着」を実現するため、スポーツを「する人」、「みる人」、「創る人」、「支える人」に着目した成果目標の達成に向けて、北九州市スポーツ振興計画に定めた5つの政策に沿って着実に事業を進める。						
	課長名	正代 憲幸		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	2,111,182 千円	人件費	目安の金額	課長
平成28年度当初予算額(B)			2,020,148 千円			係長	9 人			
					増減額(A-B)	91,034 千円			職員	15 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度当初予算額(千円)	平成29年度当初予算額(千円)	当初予算の増減額(千円)
1	○			北九州マラソン開催事業	本市の魅力を全国に発信するとともに、「スポーツによるまちのにぎわいづくり」や「スポーツの振興」などを目的に「北九州マラソン」を開催する。	生涯・競技スポーツの普及・振興	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道応援者等によるまちの賑わいづくり ・オリンピック開催に向けたジュニア世代のスポーツの振興や大規模スポーツ大会を活用したまちのにぎわいづくり ・市民のスポーツ活動機会の拡大・創出 ・本市全体の競技レベルの底上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州マラソン大会が北九州市民の一大イベントとして根付くよう、着実に事業を実施する。 ・東京オリンピックの開催を踏まえ、国際・全国大会で活躍する選手を育成するため、選手個々の能力を高める事業を実施する。 ・教室実施回数の増加など、既存の取り組み内容の拡充を検討する。 ・市民スポーツ参加機会の拡充を図るため、市民体育祭等の大会を開催する。 	103,571	104,458	887
2	○		夢・スポーツ振興事業	2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を踏まえ、国際・全国大会で活躍する選手を育成するため、選手個々の能力を高める事業を実施する。	6,000				8,000	2,000	
3	○		総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	本市におけるスポーツ実施率の向上及び地域交流の促進のため、多世代、多種目、多志向を特徴とし地域住民等により自主・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組むもの。	3,779				3,779	0	
4	○		市民体育祭	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催する。	8,500				8,500	0	
5	○		生涯スポーツ振興事業	市民への生涯スポーツ振興・普及のため、各区においてスポーツ教室、交流大会などを開催し、校区単位で開催するスポーツ行事に対する補助を行う。また、スポーツ関係団体の運営及び事業費等の助成を行います。	20,279				20,279	0	
6			スポレク振興委託事業	レクリエーション活動のリーダー養成やスポーツ教室を実施することで、スポーツ・レクリエーションの振興を図る。	910				910	0	
7			スポーツ大会選手派遣事業	国際・全国規模のスポーツ大会へ出場する市民を支援することにより、スポーツの振興、まちに対する自信や誇りの醸成、地域のイメージアップを図る。	9,162				9,162	0	
8			ドリームスポーツタウン推進事業	本市におけるサッカー競技者の底辺のレベルアップを図るとともに、青少年の健全育成並びに本市のスポーツ振興を目的に、ギラヴァンツ北九州によるサッカー教室等を行う。	6,777				6,696	-81	
9			スポーツ強化事業	福岡県民体育大会の派遣・競技力向上するため実施する。	5,471				5,140	-331	
10			市民スポーツ賞事業	国際的・全国的なスポーツ競技大会において、優秀な成績を挙げた個人並びに団体で、市民の範となる方を表彰する。	1,178				1,137	-41	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				「わくわく体験」スポーツ教室	冬季のスポーツ振興の一環として、全小学生を対象とした希望参加型のアイススケート教室の開催等を行い、青少年の健全育成と生涯スポーツの振興に寄与するもの。	学校体育等の連携・充実	・家庭や地域と連携した運動習慣等の定着	・平成28年度に策定した北九州市スポーツ振興計画(改訂版)に基づき、着実に事業を進める。	14,675	14,675	0
12	○			ホームタウン推進事業	本市をホームタウンとする「ギラヴァンツ北九州」や準ホームタウンとする「堺プレザーズ」や「福岡ソフトバンクホークス」等のスポーツ観戦や体験教室を通じ、本市のホームタウン化を図る。		・大規模スポーツ大会を活用したまちのにぎわいづくり ・「みる」スポーツの機会創出 ・プロスポーツチームの支援	・多種多様な市民スポーツの振興や市民の一体感の醸成等を図るため、本市をホームタウンとする「ギラヴァンツ北九州」や準ホームタウンとする「堺プレザーズ」や「福岡ソフトバンクホークス」等のスポーツ観戦や体験教室の開催などを通じ、ホームタウン化の推進を図る。	64,450	64,450	0
13				選抜女子駅伝北九州大会	女子中・長距離の育成、強化を図るとともに、競技をとおして市民の連携意識の高揚とスポーツへの参加意識の喚起を図る。		・「みる」スポーツに対応する高規格施設等の整備 ・スポーツ観戦率の向上		18,000	18,000	0
14	○			国際大会・全国大会等スポーツ開催	国際大会・全国規模の大会の開催を行い、市民にスポーツの関心を高め、スポーツの普及・振興を図る。	スポーツによるまちの活性化	・「みる」スポーツに対応する高規格施設等の整備 ・スポーツ観戦率の向上	・ギラヴァンツ北九州のホームゲームで、親子を対象としたスポーツ教室と試合への招待をセットとしたイベントなどを積極的に開催することを検討する。	3,650	3,650	0
15	○			ギラヴァンツ北九州支援事業	市民に夢と感動を与え、市民が一つになれるシンボルチームを育てるため、Jリーグ(J3)に所属するギラヴァンツ北九州に対する支援を行う。		・クラブへの愛着感を向上させる取り組みやホームゲームへの来場につながる取り組みの実施。	・来場者のホスピタリティ向上に繋がる取り組みを検討する。	60,000	60,000	0
16				スポーツによるにぎわいづくり基金活用事業	北九州市スポーツによるにぎわいづくり基金を活用した事業を実施し、スタジアムに対する市民の盛り上げ、愛着を高めるもの。				1,380	4,200	2,820
17		○		戸畑D街区スポーツ施設整備事業	戸畑D街区において、区内に点在し老朽化したスポーツ施設を集約し、本市のスポーツの拠点として整備を行う。				15,800		-15,800
18		○		北九州スタジアムオープニングイベント開催事業	ミクニワールドスタジアム北九州をランドマーク施設として市民に愛されるスタジアムにするため、オープニングに合わせてイベントを実施する。				9,000		-9,000
19				スポーツ施設耐震補強長寿命化事業	北九州市耐震促進計画や市有建築物耐震診断推進連絡会、文部科学省からの通知に基づき、耐震対策を実施する。		・公共施設の適正な管理 ・身近なスポーツ施設の充実	・身近なスポーツ施設を充実させるとともに、利用者が安全・安心に施設を利用できるように老朽化対応や必要な改修工事を行う。	13,400	31,550	18,150
20				スポーツ施設維持改修事業	対症的な対策が必要である施設のうち、現に施設の利用や運営に支障をきたし、安全性の確保を図ることができないものについて、必要な維持改修を行う。	スポーツ施設・情報基盤の整備	・「みる」スポーツの振興のためのスポーツ施設の整備 ・環境モデル都市への対応	・「みる」スポーツの振興や大規模国際大会等の誘致を目的とした桃園市民プール(室内)等の整備に取り組む。 ・大規模大会の誘致や市民参加型スポーツイベント等の実施による年間を通じた北九州スタジアムの運営の活性化に取り組む。	100,000	81,890	-18,110
21		○		鞆ヶ谷競技場改修事業	鞆ヶ谷競技場について、(公財)日本陸上競技連盟の公認を継続するために改修工事や備品整備を行う。				123,000		-123,000
22		○		スポーツ施設における障害者・高齢者利用促進事業	障害者差別解消法の施行や高齢者の健康志向の高まりを受け、誰もがより利用しやすい施設にするために必要な改修を行う。				10,400		-10,400
23				桃園市民プール(室内)整備事業	老朽化が著しく更新時期を迎えた市内唯一の室内公認50mプールである桃園市民プール(室内)について、整備を行うもの。				34,000	99,000	65,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
24				旧響南中学校スポーツ開放事業	旧響南中学校の格技場及び響南運動場を、施設の有効活用を目的とし、学校施設開放に準じる施設として一般開放する。				1,286	1,366	80
25				スポーツ施設更新事業	老朽化している施設の再整備や設備の更新、修繕を行う。				36,326	36,326	0
26				スポーツ施設整備	スポーツ施設にある備品の修繕や必要物品の購入等を行う。				8,659	11,260	2,601
27				スポーツ施設ユニバーサルデザイン化推進事業	高齢者や障害のある人、老若男女を問わず誰もが気軽にスポーツ施設を利用できるよう、施設のユニバーサルデザイン化を促進する。				7,696	7,696	0
28				スポーツ施設維持管理事業	住民サービスの向上や経費の節減を図ることを目的とし、民間事業者を含めた幅広い団体に公の施設の管理を委託するもの。				1,289,220	1,292,244	3,024
29				スポーツ施設予約システム推進	インターネットを活用し、スポーツ施設紹介、施設空き情報の提供、施設の予約等を行う。				2,948	3,013	65
30		○		<新>本城陸上競技場備品整備事業	2018年3月31日付で(公財)日本陸上競技連盟の公認期間が満了するが、引き続き公認陸上競技場として2018年2月に公認検定を受ける予定である。本事業では、公認を継続するために備品整備を行うものである。	スポーツ施設・情報基盤の整備	・「みる」スポーツの振興のためのスポーツ施設の整備 ・環境モデル都市への対応	・身近なスポーツ施設の充実 ・「みる」スポーツの振興や大規模国際大会等の誘致を目的とした桃園市民プール(室内)等の整備に取り組む。 ・大規模大会の誘致や市民参加型スポーツイベント等の実施による年間を通じた北九州スタジアムの運営の活性化に取り組む。		10,450	10,450
31		○		<新>鞆ヶ谷競技場備品整備事業	(公財)日本陸上競技連盟の検定員による事前審査の結果、円盤・ハンマー投囲いについては規格を満たしておらず、公式大会開催に対応できないものであるだけでなく危険であるとの指摘があった。本事業では、規格外となった備品で、早急な更新が必要な備品整備を行うものである。					9,000	9,000
32		○		<新>スポーツ施設AED更新事業	所管のスポーツ施設のうち、31施設のAED及び13施設の付属品の更新を行うもの。					7,650	7,650
33		○		<新>北九州スタジアム維持管理事業	北九州スタジアムの維持管理や運営に必要なサービス購入料を指定管理者に支払うもの。					102,355	102,355
34		○		<新>北九州スタジアム用地運用事業	新日鐵住金(株)の所有している土地を借り上げ、北九州スタジアムを設置した。契約上、新日鐵住金(株)にて、毎年固定資産税評価額の3%の借地料を支払うこととなっている。					52,000	52,000
35				スポーツ推進委員	地域におけるスポーツ・レクリエーションに関する行事の企画・立案、運営及び実施や生涯スポーツの振興やニュースポーツの普及などを行うスポーツ推進委員の活動を促進する。	指導者の養成と有効活用	・スポーツ指導者等の育成と活用の場づくり	・地域スポーツを担う総合型スポーツクラブやスポーツ推進委員などの人材育成・活用を図る。	8,634	8,634	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
36				各種委員会 (スポーツ推進審議会)	スポーツ推進審議会の開催経費。	その他	—	—	691	531	-160
37			管理運営費(スポーツ)	課の一般事務費。	5,837				5,805	-32	
38			公用車リース経費(ス ポーツ振興課)	八幡東区コミュニティ支援課公用車1台と戸畑区役所コミュニ ティ支援課公用車1台のリース経費。(H29～H33年度債務負担 行為限度2,300千円)	432				336	-96	
39			北九州市スポーツによる にぎわいづくり基金積立 金	平成27年度より募集を開始した北九州スタジアム寄附金、北九 州マラソンマラソンスポーツ募金について、市民スポーツの普及 及び振興を図り、まちのにぎわいを創出するため、基金へ積み 立てるもの。	22,000				14,003	-7,997	
40			公用車リース経費(ス ポーツ振興課)	スポーツ振興課所管公用車2台と小倉南区役所コミュニティ支援 課公用車1台のリース経費。(H28～H33年度債務負担限度額 3,500千円)	583				583	0	
41			文部科学省(スポーツ庁) 派遣研修事業	文部科学省(スポーツ庁)へ派遣する職員の赴任旅費や職員用 公舎借上げ料等の必要経費。	2,454				2,454	0	

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局大規模大会誘致推進室		重点項目	ラグビーワールドカップ2019日本大会及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地や大規模国際大会等の誘致に向け、戦略的な誘致プロモーション事業を展開する。							
	課長名	久保 聖子		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	71,950 千円	人件費	目安の金額	課長	1
平成28年度当初予算額(B)			30,000 千円			54,000 千円	係長		2	人	
					増減額(A-B)	41,950 千円					
								職員	3	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度当初予算額(千円)	平成29年度当初予算額(千円)	当初予算の増減額(千円)
1	○			大規模国際大会等誘致事業	RWC2019及びTokyo2020のキャンプ地誘致や、各種大規模国際大会等の大会誘致に関する取組みを行う。	戦略的な誘致プロモーションと充実した競技環境により、大規模国際大会やキャンプ地の誘致を優位に進め、大会誘致等により、都市のにぎわいづくりやスポーツの振興等に寄与する。			30,000	35,000	5,000
2		○		<新>大規模大会開催のためのスポーツ備品整備事業	大規模国際大会等で必要となる、国際規格の備品等の整備の充実を図るもの。		・他自治体のキャンプ地誘致が本格化し、各自治体間の競争が激しくなってきた。	・事業を拡充し、誘致対象国への招聘・訪問等、積極的なアプローチを行う。		11,950	11,950
3		○		<新>ワールドラグビー女子セブンズ開催事業	日本初開催となる「HSBCワールドラグビー女子セブンズシリーズ2016-2017」の第4戦日本大会の受け入れを行うもの。					25,000	25,000

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 安全・安心推進課		重点項目	・安全・安心条例に基づき策定した行動計画に沿って、「日本トップクラスの安全なまち」及び「誰もが安心を実感できるまち」を目指して、さまざまな事業を総合的、継続的に推進する。					
	課長名	守口 昌彦		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	60,851 千円	人件費	目安の金額
平成28年度当初予算額(B)			74,589 千円			61,500 千円	係長		2 人
				増減額(A-B)	-13,738 千円				職員

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度当初予算額(千円)	平成29年度当初予算額(千円)	当初予算の増減額(千円)
1	○			1万人の防犯パトロール大作戦支援事業(旧:世界記録への挑戦(1万人の防犯パトロール大作戦))	地域の自主防犯組織である「生活安全パトロール隊」の活動を、より多くの市民等に周知し、活動参加のきっかけとしてもらうとともに、安全・安心な本市のイメージを内外に発信することを目的とする。	安全・安心なまちづくりの推進	安全・安心条例行動計画で目標に掲げる、刑法犯認知件数の減少やパトロール活動参加者の拡大、体感治安の改善に向け、活動参加者の高齢化や固定化が課題となっている地域自主防犯活動の活発化や、特に体感治安に影響する子どもや女性の犯罪被害の防止対策、安全・安心の取り組みを発信することでの都市イメージの向上等に取り組み、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりを推進する。	若者や事業者などより多くの市民等に参加してもらうため、事業者訪問や学生ボランティア活動の活発化等を通じて、活動への参加を促す。また、地域のニーズを踏まえた支援を通じて、活動の定着を図る。	10,000	1,750	-8,250
2	○		生活安全パトロール隊活動支援事業	本市の生活安全パトロール隊は、平成16年度より、安全で安心して暮らせるまちづくりのために、地域の防犯パトロールや子どもの見守り活動等の自主防犯活動を実施している。結成当初支給したジャンパーが10年を迎え、更新時期にきていることから、10年表彰を機に、平成28年から3ヶ年(平成28年~30年)で支給するもの。	日頃、安全・安心なまちづくりに貢献している団体への物資支給により、安全・安心に関する活動への参加意欲の向上を図る。			6,800	1,300	-5,500	
3	○	○	<新>安全・安心なまち北九州情報発信事業	市外から転入した大学生等に、本市の安全・安心の取り組みや成果を学習・体験してもらい、その体験談や防犯知識等を、若者の視点で、情報発信してもらうことで、本市の体感治安や安全な都市イメージの向上を図る。	本市の安全・安心の取り組みや成果を学習・体験して得た情報を内外に発信してもらうことで、本市の体感治安や安全な都市イメージの向上を図る。				2,200	2,200	
4	○		北九州市安全・安心条例行動計画推進事業(旧:北九州市安全・安心条例普及・啓発事業)	市民・事業者・行政(教育機関含む)が、本市の新たな「安全・安心なまちづくり」を共に考え、一丸となって取り組めるよう、「北九州市安全・安心条例」の制定趣旨・目的等について理解を深める啓発事業等を実施するもの。また、その取組の成果を内外に発信するもの	条例制定の趣旨・目的等について理解を深めるための普及・啓発活動を推進するとともに、安全・安心に関する取り組みの成果を積極的に発信する。			10,035	11,963	1,928	
5	○		安全・安心なまちづくり市民大会	安全・安心に関して活動する様々な団体が情報交換や交流を行い、「安全・安心活動の輪」を広げ、意識の高揚を図るため、「安全・安心なまちづくり市民大会」を開催する。	日頃、安全・安心なまちづくりに貢献している団体への感謝状の贈呈や活動事例発表などにより、安全・安心に関する活動への参加意欲の向上を図る。			1,600	1,500	-100	
6	○		子どもと女性の「防犯力アップ」推進事業(旧:子どもを守る「家庭の防犯力アップ」事業、女性のナビゲーター事業)	「地域安全マップづくり」や「安全セミナー」を通じて、子どもの防犯意識や危険回避能力の向上を図る。また、防犯の専門家による体験型セミナーを通じて、性犯罪の実態や防犯対策を学ぶことで、女性の防犯意識の向上を図る。	子どもや女性自身に、自分の身は自分で守るという意識づけや、防犯のための知識を身につけてもらうとともに、安全・安心な都市イメージの向上につなげる取り組みを行う。			2,000	1,900	-100	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
7	○			地域防犯対策事業	安全・安心条例に基づき、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	安全・安心な まちづくりの推進	安全・安心条例行動計画で目標に掲げる、刑法犯認知件数の減少やパトロール活動参加者の拡大、体感治安の改善に向け、活動参加者の高齢化や固定化が課題となっている地域自主防犯活動の活発化や、特に体感治安に影響する子どもや女性の犯罪被害の防止対策、安全・安心の取り組みを発信することでの都市イメージの向上等に取り組み、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりを推進する。	・市民・警察・市が連携・協力して、安全・安心なまちづくりを促進するとともに、市民意識の高揚を図る。 ・市民の不安感の払拭に向けて、警察など関係機関と連携し、防犯活動に引き続き力を注いでいく。	33,346	33,630	284
8			防犯活動支援補助事業	本市における地域の防犯活動を推進している各警察署内の防犯協会等に対し、財政的な支援を行う。	5,700				5,700	0	
9			安全・安心課一般管理	安全・安心推進部(消費生活センター除く)の管理運営に係る経費である。	—				1,108	908	-200
10		○	次世代防犯リーダー育成推進事業	地域防犯活動の新たな担い手を育成するため、学生の防犯ボランティア活動の促進を図る。	1,000				事業縮小により、北九州市安全・安心条例行動計画推進事業に統合	-1,000	
11		○	安全・安心な繁華街づくり事業	安全・安心でにぎわいのある繁華街づくりに向け、関係者が協議し、役割に応じて取り組んでいくことで新たな夜の魅力づくりと安全・安心な都市のイメージを発信する。	3,000						北九州市安全・安心条例行動計画推進事業に統合

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 安全・安心都市整備課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な都市環境の整備を行うことにより、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。 ・交通事故のない環境を創出し、事故のない安全で安心なまちづくりを推進する。 ・市民等のモラル・マナーの向上を図り、迷惑行為のない快適な生活環境を創出する。 							
	課長名	井手 清治		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	261,999 千円	人件費	目安の金額	課長	1
				平成28年度当初予算額(B)	292,489 千円				係長	3	人
				増減額(A-B)	-30,490 千円		64,000 千円		職員	3	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度当初予算額(千円)	平成29年度当初予算額(千円)	当初予算の増減額(千円)
1	○			防犯カメラ運用事業	犯罪の抑止効果と都市の安全確保のため設置した防犯カメラの適切な管理運用を行う。	防犯カメラの適正な運用	凶悪事件等の犯罪の抑止や市民の安心感の醸成など、さらなる市民の安全・安心の確保が求められている。	主要幹線道路や小倉北区、八幡西区の繁華街に既に設置している防犯カメラの適正な運用を行う。また、設置拡大を図るため、市民や事業者が設置する防犯カメラの設置費用の一部を補助する。小倉北区繁華街における防犯・暴追の拠点施設である堺町安全・安心センターの運営を行う。	45,711	45,711	0
2	○		防犯カメラ設置補助事業	地域団体や事業者が設置する、公共空間を撮影する防犯カメラの設置経費の一部を補助する。	25,000				22,750	-2,250	
3			繁華街における安全・安心施設運営事業	繁華街の安全・安心を確保するため、堺町安全・安心センターの管理運営等を行う。	2,288				2,019	-269	
4	○		通学路防犯灯拡充事業	防犯灯(LED灯)の補助制度の拡充や市による防犯灯の設置など、通学路の夜間の安全確保に取り組む。	防犯灯事業の推進	夜間における犯罪の発生を未然に防止し、公衆の通行の安全を図るため地域と市が協力しながら、防犯灯を設置するなど明るく安全なまちづくりが求められている。	引き続き、地域と市が連携し、防犯灯の設置や管理を推進する。維持管理費の低減を図るため、LED化を推進し、また通学路の夜間の安全確保や地域への補助等を実施しながら、明るく安全なまちづくりを推進する。	20,000	16,340	-3,660	
5			防犯灯維持管理拡充事業	市設置防犯灯の全灯調査、通学路防犯灯の整備及び地域設置防犯灯の建て替え等を促進する。				28,000	5,600	-22,400	
6			街灯の管理(建替)	老朽化した街灯の建て替えを行う。				856	856	0	
7			街灯の管理(維持)	街灯の維持管理に要する経費とする。				12,739	12,684	-55	
8	○		防犯灯設置事業	夜間における犯罪の発生を防止するため、LED防犯灯を設置し、安心して生活できるまちづくりを促進する。				40,009	40,009	0	
9			防犯灯設置補助事業	LED防犯灯の設置促進を図るため、防犯灯を設置する団体(自治連合会、未加入団体)に対して、費用の一部を補助する。				2,389	2,389	0	
10			防犯灯維持管理事業	市設置防犯灯の維持管理を行う。				24,940	18,999	-5,941	
11			防犯灯維持管理補助事業	町内会等で設置する防犯灯の経費(電気代等)を補助する。				1,426	1,445	19	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12	○			「自転車マナーアップ北九州」推進事業	自転車のルール・マナーアップを推進するため、自転車交通ルール検定の実施など自転車安全教育や啓発の更なる推進とともに、万が一に備えた自転車保険の加入促進に取り組む。	交通事故のないまちづくりの推進	交通安全教育、特に自転車の安全利用教育には、体験学習が可能な教育施設と適切な教育メニューの提供が必要である。	関係機関、団体との連携を強化し、イベントや自転車交通ルールの検定、保険加入の促進など、幅広い世代へ自転車の安全利用を推進する。	2,000	2,000	0
13	○		交通安全センター管理運営事業	北九州市立交通安全センターの管理運営及び交通公園内外における交通安全教室の実施等を交通安全教育に精通した事業者に委託する。	全国的に自転車の安全利用が課題となっている中、教育に主眼をおいた「交通公園」を設置している自治体は少ないことから、先駆的なモデルとして、交通公園における交通安全教育を市内外にアピールする。		27,573	27,573	0		
14			交通安全施設整備事業	通学路に「文」マークを設置し、通学路での児童の登下校の安全を確保する。	交通安全推進団体の自主的な活動を促進するため、活動を助成する。		交通事故発生件数について減少傾向ではあるが、いまだ多くの交通事故が発生しているため、更なる啓発が必要である。	関係機関、団体との連携を強化し交通安全運動の展開や通学路の安全施設整備を行い、市内の交通事故の防止を図る。	1,800	1,800	0
15		○	安全・安心に配慮した都市啓発事業	重点地区(小倉都心地区)を定期的に巡回しながら、助言及び啓発を行うことで違法駐車防止に努めている。					2,362		-2,362
16			交通安全推進団体補助金						8,292	8,273	-19
17	○		交通安全推進事業	第9次北九州市交通安全計画に基づき、交通安全教育及び広報啓発活動を実施し、交通安全思想の普及および交通事故の防止を図る。					5,440	7,802	2,362
18			交通安全管理運営費	交通安全事業に係る経費である。					2,787	5,055	2,268
19			山九交通遺児奨学金	高等学校等に在学する交通遺児に対して、返還を要しない奨学金を給付し、修学を支援する。	交通遺児に対する就学機会の支援制度の周知が必要である。		生徒や保護者、学校などに対して市政よりなどにより、本奨学金制度の周知を図る。	3,774	3,728	-46	
20	○		モラル・マナーアップ関連条例推進事業	小倉・黒崎地区を迷惑行為防止重点地区に指定し、4つの迷惑行為を対象に過料を適用することにより、迷惑行為のない快適な生活環境の確保を図る。	モラル・マナーアップの推進		重点地区(小倉都心、黒崎副都心地区)での路上喫煙率が条例施行前と比べ減少している。今後も巡視活動を円滑に実施し、この状態を継続していく必要がある。	引き続き、重点地区(小倉都心、黒崎副都心地区)において巡視活動を実施するとともに、劣化した路面標示などを張り替えるなどして環境整備の充実を図る。	29,492	29,492	0
21	○		迷惑行為防止重点地区サイン整備事業	迷惑行為防止重点地区内の路面標示等サイン整備の充実を図ることで、円滑な巡視活動や広報・周知の取り組み強化につなげ、市民のモラル・マナーアップを推進する。		2,000			2,000	0	
22			迷惑行為をしない・させない人づくり事業	各年代に応じた内容のモラル・マナーアップ教育を進めるとともに、迷惑行為防止に向けた様々な市民活動への参加意欲を高め、活動の活発化を図るため、教育教材や啓発物品の提供等を行う。		迷惑行為防止の啓発活動を市内全域に広げていくことが求められる。			学校、地域団体、NPO、企業等に対して、周知する。	3,611	5,474

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 安全・安心相談センター		重点項目 ・事業者や市民が警察・行政とともに一丸となって、暴力追放に取組める環境を目指す。 ・交通事故相談、民事介入暴力相談、犯罪被害者支援などの相談窓口に加え、市民の安全・安心にかかる相談を受け、市民サービスの向上を図る。							
	課長名	真藤 和徳		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	67,835 千円	人件費	目安の金額	課長
			平成28年度当初予算額(B)	60,779 千円					係長	1 人
			増減額(A-B)	7,056 千円					職員	1 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度当初予算額(千円)	平成29年度当初予算額(千円)	当初予算の増減額(千円)
1	○			暴力追放啓発推進事業	市民等が暴力団排除の重要性についての認識を深め、暴力団排除のための活動に自主的に取組むことができるよう広報及び啓発に関する取組みを実施する。	暴力追放の推進	「日本トップクラスの安全なまち」の実現に向け、社会全体での暴力団排除機運を更に高め、浸透させるため、継続した取組みを実施する必要がある。	警察・行政・市民とが連携・協力して、安全・安心なまちづくりを促進する環境を整えるとともに、市民意識の高揚を図る。また、市民の不安感の払拭に向けて、警察などの関係機関と連携し、引き続き暴追活動を行う。	6,850	6,403	-447
2	○		暴力追放運動推進補助事業	「北九州市暴力追放推進会議」や各区暴力追放活動推進団体及び「(公財)福岡県暴力追放運動推進センター」に対し、活動経費などの補助金を交付する。	3,070				3,070	0	
3	○	○	<新>暴力団事務所撤去運動支援事業	市民等による暴力団排除の自主的な取組を支援し、社会全体での暴力団排除機運を更に高め、浸透させていくため、福岡県の制度と連携して、暴力団事務所を使わせないための市民運動・住民訴訟等の実施費用を補助する新たな支援制度を創設する。					6,800	6,800	
4	○			民事介入暴力相談事業	民事介入暴力相談員を配置し、民事介入暴力等の相談に応じ、相談者の問題解決を図る。	相談者の問題解決	市政に関する幅広い知識を有する相談員を確保し、適切な相談体制とする必要がある。	市民が気軽に相談できる体制を整えることで、より効率的で効果的な運用を図る。	26,865	27,238	373
5	○			安全・安心総合相談ダイヤル事業	市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受けける「安全・安心総合相談ダイヤル」を円滑に運用し、市民の相談機会の充実と不安感解消を図る。				1,914	1,879	-35
6				生活環境パトロール事業	市民の安全で快適な生活環境を確保するため、道路などを定期的にパトロールするとともに、市民等からの情報提供に迅速な対応を行う。	道路等、市民の生活環境の向上	生活環境パトロールの効率化を図る必要がある。	市民が気軽に相談できる体制を整えることで、市民通報に対応したパトロールを重点的に行う。	18,396	19,761	1,365
7				犯罪被害者等支援事業	「福岡犯罪被害者総合サポートセンター」及び「性暴力被害者支援センター・ふくおか」の運営費の一部負担を行うことで、犯罪被害者支援施策の充実を図る。	犯罪被害者等の支援	犯罪被害者等が受けた被害を回復・軽減するために、適切で継続的な施策を提供する必要がある。	支援センターとの連携と、支援体制の強化を図る。	2,684	2,684	0
8	○		○	暴力団離脱希望者支援事業	福岡県警察・県暴追センターと協力し、暴力団からの離脱希望者の就労支援や、雇用に協力する事業者の拡大に向けた普及啓発を推進する。	離脱支援の推進	—	—	1,000		-1,000

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 消費生活センター		重点項目 消費者トラブルの解決支援、消費者被害の未然防止に努める。 自立した消費者の育成に努める。 計量行政の円滑な推進に努める。		
	課長名	愛甲 政志		コスト	事業費
平成29年度当初予算額(A)		148,505 千円	人件費	目安の金額	課長 1 人
平成28年度当初予算額(B)		149,100 千円			係長 3 人
増減額(A-B)		-595 千円		職員 9 人	109,000 千円

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				消費生活センター 相談業務推進事業	消費者トラブルの解決支援のため、専門の資格を有する消費生活相談員による相談対応・情報収集等を行う。	消費者トラブルの解決支援	・高齢化の進展や高度情報化等により複雑・多様化する消費者トラブルに、適切かつ効率的に対応することが求められている。	・相談員のレベルアップや情報収集に努め、消費者により有効な助言・支援が可能な体制を作る。 ・相談の約7割が電話相談である現状を踏まえ、効率的な相談体制に見直す。	79,013	79,013	0
2	○			消費者被害防止体制整備	消費者被害の未然防止及び消費者トラブルの解決支援のため、消費生活審議会や、専門家による相談会を開催する。	消費者被害の未然防止 自立した消費者の育成	・悪質商法・ニセ電話詐欺等による消費者被害が増加しており、高齢者のみならず、若年者が被害にあうケースも後を絶たない。 ・消費者問題に関心の低い市民には、トラブルの未然防止のための情報が十分に伝わっていない。	・幅広い年代が気軽に参加できる講座やイベントを実施し、消費者問題に関する知識を多くの市民に普及させることで、自立した消費者を育成するとともに、地域での見守りにつなげる。	1,258	1,251	-7
3	○			消費者啓発推進事業	広報誌「くらしの情報」の発行や、消費者学級の支援を行い、消費者への啓発活動を推進する。			・関係法令など、より実践的な内容の講座を開催し、ワンランク上の知識を有する人材を地域に育成する。	1,825	1,825	0
4				消費者団体活動の育成	北九州市消費問題婦人協議会に事業を委託し、団体の活動を通して消費者への啓発及び消費者教育を推進する。			・既存の高齢者見守り事業を活用し、一人暮らしの高齢者等の見守りの輪を広げる。 ・若年者への効果的な情報伝達手段として、インターネット等を活用した情報提供を行う。	3,736	3,736	0
5	○			消費者行政推進事業	「福岡県消費者行政推進事業補助金」を活用し、消費者被害の未然防止及び自立した消費者の育成のための各種事業を実施する。			・市主催のイベントや事業、情報誌、公共交通機関等を活用し、集中的にニセ電話詐欺への注意喚起を行う。	26,003	22,005	-3,998
6				計量一般事務	計量検査所の管理運営のほか、計量法に定められている特定計量器定期検査などの検査業務を実施するための経費。			—	—	26,718	25,597
7				消費生活センター運営	消費生活センター所管の施設及び相談窓口の管理運営に係る経費(計量検査所を除く)。	その他	—	—	10,547	10,848	301
8		○		<新>質量比較器更新事業(目量1mg及び0.01mg)	はかりの定期検査に用いる実用基準分銅の質量の確認のため必要な質量比較器を更新する。	—	—		4,230	4,230	

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 美術館 普及課・学芸課		重点項目 美術館本館は、大規模修繕工事による休館から約2年ぶりの開館となるため、リニューアルオープンを記念した特別展「ターナー展」を開催するなど、本市の文化発進拠点としての機能を果たすことにより、「市民の生活に潤いと豊かさを創出し、地域とともに成長していく美術館」の実現を目指す。 また、新たに、市内の小学校3年生を対象に、体験型の鑑賞プログラムを作成し子どもたちのシビックプライドの醸成をはかる。					
	課長名	木原 生晴 西村 勇晴						
コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	1,094,814 千円	人件費	目安の金額	課長	2	人
		平成28年度当初予算額(B)	1,102,497 千円			係長	2	人
		増減額(A-B)	-7,683 千円			95,500 千円	職員	7

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				美術品購入事業	美術作品を購入するための経費				2,000	5,435	3,435
2				美術館所蔵作品修復事業	所蔵する美術作品を修復するための経費	特色あるコレクションの形成	収集目的に沿った美術作品(コレクション)の収集	自主企画展等の開催計画との整合性等に留意しながら、計画的に購入する。	685	1,134	449
3			美術品取得基金	美術作品を購入する事を目的とした美術品取得基金の利息分の費用(新たな積立はなし)	119				94	-25	
4		○		<新>リニューアル記念特別展「ターナー展」	美術館本館のリニューアルオープンを記念した特別展						
5	○			美術館企画展	美術館の企画展を開催するための経費	展示会の開催	入館者数の確保	本館のリニューアルオープンに合わせた大型展「ターナー展」の開催と合わせてコレクション展を開催し、多くの市民の来館を促す。また、分館においては気軽に楽しめる美術作品や世界的な美術作品など幅広い作品を展示する企画展を引き続き実施する。	79,929	95,312	15,383
6	○			美術館コレクション展	美術館コレクション展を開催するための経費				191	1,499	1,308
7		○		<新>美術鑑賞事業「(仮称)ミュージアム・ツアー」	市内の小学生3年生を対象に、リニューアル後の美術館を舞台に美術鑑賞プログラムを実施する。	子どもたちのシビックプライドの醸成をはかる	学校教育との連携及び魅力的なプログラムの作成	教育普及にかかる専門学芸員(エドクター)の配置による継続的な運営及びガイドスタッフの養成。		6,000	6,000
8				美術館教育普及事業	小中学生や市民が美術作品に触れる機会を創出するために実施するワークショップ、市内の小・中学生を対象としたたんけんパスポート事業の実施。	教育普及活動、学習支援の充実・促進、市民の参画・交流促進	事業対象者の見直しを行うなど参加者の増を図る。	市内の小中学校や文化施設と連携したワークショップなどを開催し、参加者の確保を図る。	3,155	1,510	-1,645

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9				美術館大規模修繕事業	昭和49年に建築した本館等について、老朽化に伴い施設の大規模な改修が必要となっており、その実施に要する経費	施設の適正な管理によるアメニティーの向上	老朽化に伴う施設の維持補修	施設の適正な維持管理及び展覧会の運営等を図るため、必要な対策を講じる。	900,900	759,600	-141,300
10			美術館管理運営事業	美術館の管理運営に係る経費	96,407				89,939	-6,468	
11			黒崎市民ギャラリー管理運営費	黒崎市民ギャラリーを運営するための経費	11,940				11,909	-31	
12			美術館施設改修	美術館の建物・設備の維持補修に必要な経費	5,971				5,552	-419	
13			美術館昇降機修繕事業	美術館本館エスカレーター(1基)の修繕に必要な経費	1,200				46,000	44,800	
14		○	<新>美術館管理運営費	美術館の管理運営に係る経費				39,160	39,160		
15		○	<新>美術館シャトルバスリース	美術館シャトルバス運行に必要なマイクロバス1台のリース料	本館リニューアルオープンにかかる経費の確保	大規模修繕後の美術館本館の円滑な運営		670	670		
16		○	<新>開館記念事業	美術館リニューアルオープンを記念した式典・講演会等の開催及びパンフレット				1,000	1,000		

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 自然史・歴史博物館 普及課・自然史課・歴史課		重点項目	過去最高の62.2万人の入館者を記録した平成25年度から4年が経過し、序々にリニューアル効果に翳りが見えはじめていることから、開館15周年などの契機を活かしながら、魅力的で集客力のある特別展の開催、集客の柱である団体客の集客・誘致に取り組み、地域の賑わいの拠点施設としての魅力向上や更なる学術・文化の発展、教育普及活動の充実を図る。					
	課長名	井上 智史 真鍋 徹 松井 和幸		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	312,067 千円	人件費	目安の金額
平成28年度当初予算額(B)			306,067 千円			222,000 千円	係長 6 人		
					増減額(A-B)	6,000 千円	職員 17 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			博物館企画展・特別展開催事業	学芸員による調査研究や資料収集の成果を元に市民のニーズに応える魅力ある特別展を開催し、市民文化の創造に寄与する。	文化振興計画に定める「地域の賑わいの拠点施設」としての魅力向上	・魅力的な特別展の開催による来館者数の確保 ・特別展等開催経費の確保	・集客力のある夏期の大規模展覧会や世界文化遺産に関連する展示など、時機を捉えた企画を特別展として開催することで、メディアの露出やタイアップの獲得を図り、効果的な集客につなげる。	16,684	16,600	-84
2	○			いのちのたび博物館開館15周年記念事業(大規模特別展・周年記念イベントの開催、博物館公式HPの多言語化)	特別展・企画展の充実を通じて市内外からの集客を図り、地域の賑わいの拠点施設を目指す。		・特別展の開催にあたり、外部資金(民間出資金)の獲得を図る。 ・常設展の見直しに係る経費の確保	・特別展の開催にあたり、外部資金(民間出資金)の獲得を図る。 ・常設展来館者の集客を図り、博物館使用料(大規模特財)の増収に努める。	32,000	39,000	7,000
3	○			博物館セカンドスクール事業	博物館を第二の学校とし、子どもたちの理科・社会科への学習意欲の向上を図る。			・修学旅行や校外学習などによる博物館利用をさらに促進し、第二の学校としての機能や役割の向上を図るため、更に多くの学校団体の誘致活動を推進していく。	1,857	1,857	0
4		○		東アジア友好博物館交流事業	韓国の仁川広域市博物館、中国大連市の旅順博物館との3館で会議や研究会、所蔵品を紹介する巡回展を実施し、国際文化交流の推進を図る。		・更なる教育普及事業の充実		6,000		-6,000
5				ジオパーク活動推進事業	日本ジオパーク認定に向け、本市のジオパーク活動の活性化及び普及活動を図る。	本市の学術文化の発展と、セカンドスクールとしての教育普及活動	・資料収集及び施設整備にかかる予算の確保	・限られた予算の中で、効果的な資料の収集・整備に努めるとともに、着実な研究活動を行うことで効率的な施設運営を行う。	1,782	1,782	0
6				博物館教育普及事業	博物館講座・教室の開催により本市の学術文化の発展に資する。		・ジオパーク事業等を通じた新たな付加価値の創造	・本市の誇るべき地質遺産の保全や環境学習の推進、集客の拡大につなげるため、着実にジオパーク活動を推進する。	1,354	1,354	0
7				博物館資料収集・調査研究事業	学芸員の調査・研究を支援し、個々の資質向上を図る。また、資料収集により、調査研究に役立てる。		・小倉城と城下町の歴史について、市民の関心と知識を高める	・現在本市が全庁的に取り組んでいる「小倉城周辺魅力向上事業」の一環として、小倉城及びその城下町の歴史を掘り起こし、わかりやすく提示した書籍を出版することで、文化・観光資源としての小倉城の価値を高め、市民のシビックプライド向上に寄与する。	6,176	6,176	0
8				博物館既存資料整備事業	保有する資料の中で、寄贈・寄託等による未整理・未修復の資料を展示可能な状態に整備する。				6,898	6,898	0
9		○		<新>「(仮称)小倉城と城下町の歴史」出版事業	小倉城・城下町の歴史を掘り起こし、わかりやすく提示する書籍を出版することで、市民等の知識と関心を高め、文化・観光資源として小倉城の価値を高める。					5,000	5,000
10				博物館維持管理費	博物館の施設維持管理に係る経費。	その他	—	—	228,477	228,477	0
11				博物館運営事業費	施設維持管理以外の管理運営に係る経費。				4,839	4,923	84

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 松本清張記念館事務局		重点項目	平成22年に策定した「北九州市文化振興計画」を推進し、松本清張の偉大な業績を称え、後世に継承していくことにより、「芸術・文化によるまちづくり」に努める。この目標に沿った事業を展開し、清張文学の資料を収集し、研究するとともに、市内外に情報発信し本市のイメージアップを図る。							
	課長名	福田 正視		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	66,618 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
平成28年度当初予算額(B)			64,600 千円			51,500 千円	係長		1 人		
					増減額(A-B)	2,018 千円	職員				4 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			松本清張記念館普及事業	①企画展(年2回)の開催 ②講演会・読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業	市民が芸術・文化に接する機会の拡大及び芸術・文化の担い手の育成	企画展や講演会等の開催により、来館者数の増加を図ることが課題	更に魅力的な講演会や企画展を開催するよう努めていく。	7,100	7,818	718
2	○			松本清張記念館研究センター事業	①松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業 ②松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業 ③研究誌発行事業	発進力の高い芸術・文化の振興	研究の成果により効果的に市内外に発信することが課題	更に松本清張とその作品の研究を行うと共に研究発表会や研究誌の発行等により、市内外への情報発信に努めていく。	5,800	5,600	-200
3				松本清張記念館管理運営費	館の管理運営に関するもの	その他	—	—	51,700	51,700	0
4		○		〈新〉IT技術を活用した展示内容の拡充等事業	IT技術(AR)を活用して「展示資料の外国語表記」を行い、外国人来館者の対応を図る。	国内外からの集客を図る	松本清張の偉大な業績を国内外に情報発信することが課題	外国の方々にもよく理解できるよう整備に努めていく。		1,500	1,500

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 文学館事務局		重点項目	・北九州市ゆかりの優れた文学者に関する資料の保存・収集及び調査研究の充実を図り、情報を発信することにより市民の誇りを醸成する。 ・多くの市民が文学に親しむ機会を拡大するため、企画展や講演会、文学講座の開催、文庫本の発行等の普及事業を実施する。 ・文学賞等を実施することにより、幅広い年齢層の文学界人材育成を目指す。							
	課長名	岩村 恭代		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	76,676 千円	人件費	目安の金額	課長	1
				平成28年度当初予算額(B)	86,460 千円				係長	2	人
				増減額(A-B)	-9,784 千円		69,000 千円		職員	5	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度当初予算額(千円)	平成29年度当初予算額(千円)	当初予算の増減額(千円)
1	○			文学館普及研究費	企画展の開催や、各種講座、研究事業等を実施する。	市民が文学に親しむ機会の拡大	文学館の認知度を向上させる。	北九州ゆかりの文学者の調査研究の充実を図るとともに、集客力の高い企画展の開催力を入れる。	19,125	18,624	-501
2				文学館管理運営費	文学館の管理運営に係る経費。	その他	-	-	23,135	23,550	415
3	○			林芙美子文学賞	「林芙美子文学賞」に関する経費。	文化芸術の担い手の育成	幅広い文化芸術の担い手を育成する。	受賞者が文学界で活躍する足がかりとなるような受賞後のフォローを行うように努める。	16,000	16,000	0
4	○			子どもノンフィクション文学賞	「子どもノンフィクション文学賞」に関する経費。	文化芸術の担い手の育成	文学賞の認知度上昇と、全国からの応募数増加	小中学生、学校関係者等への積極的なPRを展開し、認知度アップを図り、応募件数増加に努める。	12,500	12,502	2
5				文学館文庫発行事業	絶版等で入手困難な北九州ゆかりの作家の文庫本を発行し、「文学の街 北九州」の全国への発信と、本市の文化振興を図る。	「文学の街 北九州」の全国への発信	-	-	3,000	3,000	0
6		○		〈新〉(仮称)北九州市立文学館展示リニューアル検討事業	平成32年度のリニューアルオープンに向けて学識経験者等による「(仮称)北九州市立文学館展示リニューアル検討会」を開催し、同検討会で出された意見等を踏まえながら、その後の基本的な方向性やコンセプトなどを決定するもの。	「文学の街 北九州」の全国への発信	-	-		2,000	2,000
7		○		〈新〉文学館研究成果発信事業	文学館で行う研究成果を外部に発信するための冊子を発行する。	「文学の街 北九州」の全国への発信	-	-		1,000	1,000
8			○	文学館屋上設備等補修事業	文学館の老朽化した屋上設備等に必要の補修を行う。	その他	-	-	2,700		-2,700
9			○	文学館開館10周年事業	文学館開館10周年を記念し、講演会開催や開館10年誌の発行を行うとともに、資料展示の充実を図るため、火野葦平資料の複製品(レプリカ)製作及び常設展示室の映像機器更新等を行う。	その他	-	-	10,000		-10,000

平成29年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局漫画ミュージアム事務局		重点項目	漫画文化の振興を図るため、「見る」、「読む」、「描く」の3つのテーマに沿った魅力ある事業を実施する。さらなる漫画文化の普及及び海外との連携強化を図るため「(仮称)日中韓新人MANGA選手権」を開催する。また、今後重要となる海外集客に対応するため「海外集客対策事業」を実施する。							
	課長名	川副 一雄		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	214,733 千円	人件費	目安の金額	課長	1
				平成28年度当初予算額(B)	204,123 千円				係長	1	人
				増減額(A-B)	10,610 千円		44,000 千円		職員	3	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度当初予算額(千円)	平成29年度当初予算額(千円)	当初予算の増減額(千円)
1				北九州国際漫画大賞	漫画の持つ魅力・ポテンシャルを国内外に向けて広く発信するため、北九州国際漫画大賞(4コマ漫画コンテスト)を実施する。	漫画文化の普及	国内外からレベルの高い作品を多く募ること	効果的・戦略的な広報により周知を図る	7,000	7,000	0
2		○		〈新〉(仮称)日中韓新人MANGA選手権	新人漫画家の国際交流、行政間の交流及び業界内の協力を促進し、漫画文化の普及・振興を図るため、日中韓3カ国の新人漫画家による現場造作の試合を開催する。	漫画文化の普及	人材育成との連携	優秀な新人漫画家の人材育成につながる方策を検討する		5,000	5,000
3		○		〈新〉漫画ミュージアム海外集客対策事業	海外インバウンドの強化のため、外国語の館内ガイドを作成する。	漫画文化の普及、海外インバウンド促進	効果的な多言語表記の工夫	効果的・魅力的な多言語対応となるようIT技術を活用		3,000	3,000
4				漫画ミュージアム普及事業	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	漫画文化の普及	来館者を増やすこと	新規来館者及び固定客の増加に向けての魅力の向上を図る	55,755	59,050	3,295
5				漫画ミュージアム管理運営費	一般事務費	その他	—	—	141,368	140,683	-685